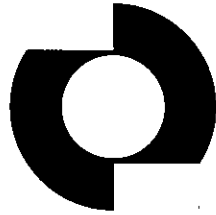


令和2年度

教育計画

出雲崎町教育委員会



町章

(昭和41年6月20日制定)

出雲崎町の「い」を円に沿って図案化したもので、
回転・力動・躍進を表したものです。

出雲崎町民憲章

わたくしたち出雲崎町民は、
日本海と小木の城に代表される
美しい自然と豊かな歴史のふる
さと出雲崎町に誇りをもち、そ
の限りない躍進に願いをこめて
この町民憲章を定めます。

一、青い海、

緑の山の恵みに感謝し、
美しい町をつくりましょう。

一、伝統をはぐくみ、

文化の香り高い町を
つくりましょう。

一、働くことを喜び、

生き生きとした町を
つくりましょう。

一、健やかな心と体を鍛え、

明るい町を
つくりましょう。

一、良寛のこころを心として、

思いやりのある町を
つくりましょう。

昭和六十二年六月二十日制定



町の木 けやき

町内に銘木も多く、特に小木ノ城のけやきは、
古くから郷土の象徴として親しまれています。
いかなる環境にも耐え抜く旺盛な生育力があり、
町のシンボルにふさわしいとして、町の木に定め
られました。



町の花 赤坂つつじ

「つつじ」は四季を通じて花葉を觀賞することが
でき、育てやすく庶民的な花木で知られています。
特にこのつつじは、乙茂の赤坂山附近に群生し
ており、他地域ではあまり生育しないことから
「赤坂つつじ」（和名：ユキグニミツバツツジ）
として、町の花に定められました。

目 次

はじめに	出雲崎町教育委員会教育長 佐藤 亨	
I 出雲崎町のすがた		1
1 位 置		1
2 気 象		2
3 歴 史		2
II 第5次出雲崎町総合計画における教育関係の基本構想 及び基本計画について(抜粋)		3
1 就学前の児童教育		3
2 学校教育		3
3 生涯学習		4
4 図書館		4
5 歴史・文化		4
6 運動・スポーツ		5
III 町教育の基本方針と施策の方向性及び令和2年度の主な事業		6
IV 教育行政全般について		8
1 社会教育(生涯学習)について		8
2 図書館について		10
3 良寛記念館について		10
4 文化財行政について		11
5 社会体育について		13
V 出雲崎町学校教育計画		16
1 出雲崎町がめざす学校教育の姿		16
2 出雲崎町の学校教育の基本的な理念		17
3 学校及び家庭・地域の具体的な取組		18
4 出雲崎町の小・中連携による教育		19
5 9年間を見通した出雲崎町の学校教育計画		21
6 出雲崎の学校教育9年間の指導系統図		22
VI 各校教育計画の大綱		23
出雲崎小学校		23
出雲崎中学校		29
教育委員会関係役職員名簿		35
出雲崎町の教育関係施設		38

はじめに

出雲崎町教育委員会教育長 佐藤 亨

令和2年は、日本中の学校が異常、異例の中で年度末、年度初めを迎えた。「新型コロナウイルス感染症」は猛威をふるい、世界中でおびただしい感染者と死亡者が出ている。日本も同様であり、社会・経済・産業は混乱し、教育面でも今までに経験のない長期の臨時休業を強いられた。ごく普通に物事が進む「正常」の有り難さを正に痛感したものである。

さて、「学校教育」では、本年度より各小学校において「新学習指導要領」に基づいて教育課程が編成され、実施されている。

今回の改訂は、社会の構造的変化とともに、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。主旨は、来年度「新学習指導要領」が編成、実施される中学校の教育課程にも当てはまる。

主な主旨は、

- 1 何ができるようになるか（育成を目指す資質・能力）
- 2 どのように学ぶか（主体的・対話的で深い学び《アクティブ・ラーニング》の視点からの授業改善）
- 3 カリキュラム・マネジメント（教育課程を軸とした学校教育の改善・充実）
- 4 何を学ぶか（具体的な教育内容の改善・充実）

など、視点は多くあるが、これらを推進する過程や終末の段階で、「何が子どもに身についたか」の評価の充実が一層大事になる。

また、「新学習指導要領」の理念を実現するために、実践上どのような方策を講ずることが必要なかを学校は研修を通し、十分に把握する必要がある。

学校教育は、子ども達の健全なる全人格的な育成を求め、その為に、単なる教科指導だけでなく、キャリア教育や様々な体験、各種行事、児童・生徒会活動等を通して育てていかなければならない。学校と地域住民・行政が一体となって子ども達を見守っていきたい。

「社会教育（公民館活動）・社会体育」においても、少子高齢化での人口構造や、多様な生き方と学習内容の欲求の変化等に対応していかなければならない。また、情報化、グローバル化、学習形態の変化など、社会の急速な変容の中で、地域課題の解決や住民の生活の豊かさ、幸福感の追求に繋がる学習やスポーツ活動の機会提供など、「良寛記念館」及び「文化財」等の運営をも含め、これまで以上に取り組んでまいりたいと考えている。

「図書館」の運営も、実際のところ所蔵冊数は多いものの閲覧環境等の課題もあり、十分に図書を持つ意義の供与にはなっていない感がある。

PCなど機器が主体になり、便利な社会になればなるほど読書離れが進み、従って、「読書」の本質的な良さを各層に隔てなく呼び掛けていかなければならない。特に、子どもの読書には主体的行動力や思考力などに効果をもたらすとの国の調査結果が出ている。

「学校教育・社会教育（公民館活動）・図書館活動」等は、いつの世にも重要であり、期待と責任を負う。

各位のご支援、ご指導を頂きながら今後とも推進していきたいと考えている。

I 出雲崎町のすがた

1 位置

本町は、新潟県のほぼ中央に位置し、南東部を長岡市、南西部を柏崎市に接し、北西部は約9kmにおよぶ海岸線を有し、佐渡と対峙しています。

町の総面積は44.38km²で、このうち山林面積が約69.1%を占めています。町の中央部には二級河川島崎川が南北に流れ、樹枝状に伸びる支流に沿って帯状の耕地が点在しています。

集落は、1次生活圏*1として海岸地区及び駅前地区があり、海岸地区では国道352号及び国道402号に沿って約3.6kmにわたり帯状に住宅地が形成されています。

また、駅前地区は中央部をJR越後線及び国道116号が町内を縦貫しており、出雲崎駅及び小木ノ城駅周辺に住宅地が形成されています。その他の集落は、樹枝状の沢々に点在しています。

上越新幹線及び北陸・関越両自動車道の開通により、関東圏に最も近い日本海側の町として、観光資源などを生かした魅力ある地域となっています。

*1：生活圏とは、地域を階層的な圏域（1次、2次、地方）に区分したもので、次の基準で示されることが一般的です。

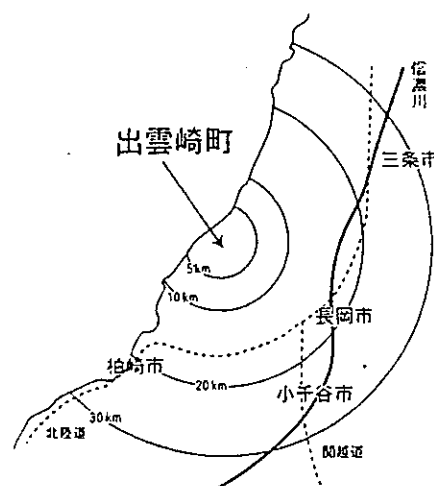
1次生活圏…役場、集会所、小学校などの施設を持ち、半径4～6km程度の範囲

2次生活圏…高度の買い物ができる商店街や高等学校などを持ち、半径6～10km程度の範囲

地方生活圏…総合病院、各種学校、中央市場などを持つ。いくつかの2次生活圏から構成され、範囲は20～30km程度の範囲

周辺（30km圏）の市町村

区分	市町村（旧名）
10km圏内	長岡市（与板町・三島町・和島村）、 柏崎市（西山町）
20km圏内	長岡市（長岡市・越路町・中之島町・ 寺泊町）、見附市、柏崎市、刈羽村、 燕市（分水町）、三条市（栄町）、弥彦 村
30km圏内	小千谷市、長岡市（栃尾市・小国町・ 山古志村・川口町）、燕市（燕市・吉 田町）、三条市（三条市・下田村）、新 潟市（巻町・岩室村・中之口村）



2 気 象

本町の気象は、冬期は冬型の気圧配置が影響して、海岸部では北西の季節風が強く、内陸部に入るにしたがって弱くなっています。平成 27 年から令和元年までの 5 年間の平均最大降雪量は 50.4cm、平均最大積雪深は 67.0cm と新潟県内においては比較的少ない地域です。平均気温は 14.9℃、平均降水量は 2,001mm となっています。

過去 5 年間の気象状況（建設課）

年次	項目	気温（℃）			降水量 （mm）	最大降雪量 （cm）	最大積雪深 （cm）
		平均	最高	最低			
平成 27 年		14.9	35.0	-3.0	1,805	18	32
平成 28 年		15.1	34.6	-4.3	1,804	83	90
平成 29 年		14.3	35.4	-3.7	2,490	64	64
平成 30 年		15.1	37.4	-5.6	1,971	70	132
令和元年度		15.1	37.2	-1.9	1,934	17	17

（観測場所：出雲崎町役場）

3 歴 史

本町の海岸地区は、神話時代に大国主命によって開拓されたと伝えられ、天正 17 年（1589 年）に上杉景勝の陣屋が設けられたほか、元和 2 年（1616 年）には江戸幕府 7 万石支配の代官所が置かれるなど、古くから佐渡への渡海の津として栄えました。

また、明治時代にはわが国初の石油の機械掘りに成功し、石油産業発祥の地として脚光を浴びました。

一方、内陸部の駅前地区は、古くは南北朝時代の小木氏や戦国時代の上杉謙信の活躍により、古戦場や小木ノ城山に代表される城跡などの史跡も残されており、戦前は教育の村として先人の功績も大きく受け継がれています。

本町の沿革は、明治 22 年の町村合併で、出雲崎町・尼瀬町・西越村・中越村・八手村の 2 町 3 村が誕生し、明治 34 年に西越村・中越村・八手村が合併して西越村となり、次いで明治 37 年に西越村と出雲崎町が合併して出雲崎町となりました。

さらに、昭和 32 年 6 月 20 日に西越村と出雲崎町が合併して、出雲崎町となり町政を施行し、翌年大字高畑が和島村（現長岡市）へ移り、今日に至っています。

Ⅱ 第5次出雲崎町総合計画における教育関係の基本構想 及び基本計画について（抜粋）

◎基本構想（平成23年度～令和2年度）

出雲崎町の将来像における基本方針について

夢・感性あふれる教育と歴史文化香るまちづくり



1 就学前の児童養育

幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期です。子ども達の健やかな成長を願い、就学につながる児童の養育に当たる保育所の役割は、健康・人間関係・環境・言語・表現の領域を学びながら、「生きる力」の基礎を育成することにあります。

本町は、家庭や地域と保育所で連携・協力して保育環境の整備を図りながら、就学前の児童の総合的な保育支援を図っていきます。

【施策の方針】

1. 就学前幼児の養育を図るため、幼児講座など公民館事業の充実を図ります。
2. 家庭・保育所・地域で綿密な連携を図り、児童が健やかに成長を遂げるために、家庭教育など生涯を通じた総合的な支援を行います

2 学校教育

今次改訂された「新学習指導要領」の重点は、①教育の理念を踏まえた「生きる力」の育成 ②知識・技能の習得及び思考力・判断力・表現力等を重視したことによる授業時数の増加 ③道徳教育や体育等の充実により、豊かな心や健やかな体の育成にあります。

要領の目指す期待像は、子どもたちが主体的に学び、積極的な意欲を持ち、かつ学んだことを前向きに活用する姿です。

それを受け本町は、知・徳・体の調和の取れた人格を形成する上から、「夢をもち、感性豊かで、たくましい心」の理念の下、児童生徒が、よりよい人生を構築できる基礎を養えるよう、学校（間）・家庭・地域が連携・協力を図りながら、町の教育を推進していきます。

高等学校教育については、心耕学園の建学の精神を受け継いだ県立高等学校がありますが、生徒の能力や適性に応じた効果的な教育が展開できるよう、県及び関係機関に対し学習環境の整備を働きかけるとともに、奨学金制度の充実に努めます。



【施策の方針】

1. 学校（間）・家庭・地域の三位一体により教育力の向上を図ります。
2. 夢を持ち、感性豊かな心とたくましい体を育てるため、学習環境の整備・充実を図ります。
3. 家庭・学校・地域で連携しながら、地域と歩む特色ある学校づくりを推進します。
4. 高学歴志向の高まりや不安定な経済状況の中で、奨学金制度の充実を図ります。
5. 高等学校に通学する生徒の通学費の一部を助成し、保護者の負担軽減を図ります。

3 生涯学習

少子高齢化社会の進展やライフスタイルの多様化等の観点から、町民一人ひとりが、自ら人格を磨き、豊かな人生を送ることが大切であり、こうした町民の資質・能力向上の活動が盛んになることで、町全体が活性化することにつながります。

みんながお互いに学びの楽しさとところの連携を通して、「生きがいの持てるまち」の精神を育み、多様な学習機会の提供や環境整備等を行い、生涯学習の活動を一層推進していきます。

【施策の方針】

1. 町民のニーズに応じた幅広い講座や文化教室を推進し、内容の充実を図りながら、学習機会の促進を図ります。
2. 時代の流れに相応し、豊かな生活を体得できる生涯学習の環境整備を図ります。
3. 町民の学習意欲を向上させるため、学校・家庭・地域が連携した自主活動の仕組みづくりや体制整備を推進します。

4 図書館

出雲崎町の図書館は、1911年（明治44年）に創設され、現在は海岸公民館内の図書館と中央公民館の図書室の2か所で設置しています。

地域の方々が楽しく読書をする事ができる場として、また、町民の方々の多様な学習の機会を提供する場としての環境整備の推進に努めます。

5 歴史・文化

町民が、町の歴史や文化に理解と関心を持ち、潤いに満ちた個性豊かな地域文化の振興を推進していかなければなりません。

本町は、多くの貴重な歴史・文化を保有し、併せて、豊かな自然があります。それらに誇りを持ち、感性豊かで、特色ある歴史・文化のまちの創造を図ることが大切です。

特に海岸地区は約 3.6 km にわたり、江戸時代から続く妻入りの街並みが建ち並び、全国的にも注目を集めています。

そのため、町の歴史・文化・芸術等が維持発展できるよう支援、振興を図っていきます。

【施策の方針】

1. 由緒ある歴史施設や伝統ある文化芸術に接する機会を提供し、精神的な豊かさを体得できるよう努めます。
2. 芸術・地域伝統文化活動への参加を促し、その成果を発表する機会の充実を図ります。
3. 芸術文化団体の活動に対して、支援などの条件整備を図ります。
4. 妻入りの街並み保全と環境整備に努めます。
5. 特色ある地域の文化遺産や民俗・風習等を集約し、出雲崎町の「宝もの」として、魅力ある町づくりに役立てていきます。
6. 良寛記念館では、良寛の道徳を永く後世に引き継ぐことが重要であり、“良寛生誕の地”である出雲崎町の情報発信を図り、町民の郷土に対する認識を深める学術文化の向上を図ります。

6 運動・スポーツ

人間の恒久的な願いは、健康でありたいと思う心です。生涯、健康を維持する観点から、みんなが体力や年齢等に応じて、「いつでも・どこでも・いつまでも」の精神を持って体を動かし、運動・スポーツに親しむことができる地域社会の実現が重要です。

町民一人ひとりの健康の維持、増進に対応するとともに、食事を含めた生活習慣の改善をはじめ、完備された運動施設を活用するなど、運動習慣の定着を図ります。

さらに町民が健康で、心身ともに明るく、楽しく日々の生活が送れるよう、運動・スポーツ全般にわたり、その振興を推進していきます。

【施策の方針】

1. 町民の健康づくりのため、計画的な各種スポーツ事業を推進します。
2. 各年代の体力に合わせた特徴的な運動・スポーツの提供や指導などの環境整備を図っていきます。
3. 健康施策を体系化しながら、家庭・地域・各種関係団体の関係者間の連携強化を推進します。



町民バレーボール大会



町民卓球大会

Ⅲ 町教育の基本方針と施策の方向性及び令和2年度の主な事業

基本方針	基本項目	施策の方向性
夢・感性あふれる教育と歴史文化香るまちづくり	1 就学前の児童養育	(1)就学前児童の養育を図るため、幼児講座など公民館事業の充実を図る (2)家庭・保育所・地域で綿密な連携を図り、幼児が健やかに成長を遂げるために、家庭教育など生涯を通じた総合的な支援を行う
	2 学校教育	(1)学校(間)・家庭・地域の三位一体により教育力の向上を図る (2)夢を持ち、感性豊かな心とたくましい体を育てるため、学習環境の整備・充実を図る (3)学校・家庭・地域で連携しながら、地域と歩む特色ある学校づくりを推進する (4)高学歴志向の高まりや不安定な経済状況の中で、奨学金制度の充実を図る (5)高等学校に通学する生徒の通学費の一部を助成し、保護者の負担軽減を図る
	3 生涯学習	(1)町民のニーズに応じた幅広い講座や文化教室を推進し、内容の充実を図りながら、学習機会の促進を図る (2)時代の流れに対応し、豊かな生活を体得できる生涯学習の環境整備を図る (3)町民の学習意欲を向上させるため、学校・家庭・地域が連携した自主活動の仕組みづくりや体制整備を推進する
	4 図書館	(1)本を介して親と子がふれあう機会を提供する (2)図書館の活用と蔵書の充実・整理
	5 良寛記念館	(1)良寛に関する歴史、民俗、美術品等の収集、保管および展示 (2)良寛関係の資料等の調査及び研究 (3)講演会、研究会等の開催、参加
	6 歴史・文化	(1)由緒ある歴史施設や伝統ある文化芸術に接する機会を提供し、精神的な豊かさを体得できるよう努める (2)芸術・地域伝統文化活動への参加を促し、その成果を発表する機会の充実を図る (3)文化芸術団体の活動に対して、支援などの条件整備を図る (4)文化財の保護とその活用 (5)妻入りの街並み保全と環境整備 (6)特色ある地域の文化遺産や民俗・風習等を集約し、出雲崎町の「宝もの」として、魅力ある町づくりに役立てていく
	7 運動・スポーツ	(1)町民の健康づくりのため、計画的な各種スポーツ事業を推進 (2)各年代の体力に合わせた特徴的な運動・スポーツの提供や指導などの環境整備を図る (3)各種のスポーツ大会の開催を通じて、スポーツに親しみながら、健康の増進や、地域、職場やグループの交流、連携の育成に役立てる (4)広域圏や体育協会等のスポーツ団体の活動を支援して、相互協力を図る (5)スポーツ推進委員活動の充実 (6)多目的運動場を活用したスポーツ事業の推進
	8 施設の整備充実	(1)学校教育施設の整備充実 (2)社会教育施設の整備充実 (3)社会体育施設の整備充実 (4)良寛記念館の整備充実

令和2年度の主な事業等

・就学支援教育相談 ・教育支援委員会による個々にあった就学先の検討

・学校支援地域本部事業 コーディネーターやボランティアの養成・活用、スクールガード(下校時の一斉防災無線放送)
 ・奨学金貸与事業 ・小中連携強化 ・文化芸術観賞会 ・未来の夢子ども体験講演会 ・小中学校入学祝金支給
 ・電子黒板の活用 ・小学生俳句教室 ・良寛さんの心書道展 ・小学校理科支援員の設置 ・子育て教育講演会
 ・特別支援教育の推進 ・いじめ、体罰、不登校等の対応強化 ・いじめ見逃しゼロ運動 ・要保護児童生徒巡回指導
 ・通学バス運行 ・通学路の安全確保 ・キャリア教育の充実 ・防災教育の充実
 ・良寛学習(小中校連携して9年間実施)

・青少年教育事業 幼、少年を持つ親に対して学習の場を提供するとともに、少年期においては、学校教育と連携しながら、仲間づくりや自然とのふれあいの機会を通じた人間関係の育成に努める
 ・一般教育事業 成人大学として良寛に関する学習をするほか、生涯学習講座として総合大学を実施するとともに各種教室を開設する
 ・文化活動 町内の文化活動を行っている関係諸団体と連携し、文化創作発表などを推進
 ・学校地域本部事業活動において、学校とコーディネーターや家庭・地域のボランティアの連携を図る

・図書館運営事業 幼児期に親子で本に親しむ機会をつくる「ブックスタート」や、親子文庫による子どもたちの読書活動への支援事業の実施
 ・図書館の蔵書の充実
 ・蔵書、新刊図書の数値化作業の継続と町立図書館(海岸公民館と併設)と中央公民館(図書室)の利便性の向上を図る
 ・他施設と連携しての読書支援活動

・良寛記念館の譲渡を受け、『出雲崎町で生まれ育った良寛の遺墨や関連資料は、出雲崎町の貴重な財産であり、これらを良寛の遺徳とともに 永く後世に引き継ぐことが重要である』ことから、町内外に「良寛生誕の地である出雲崎」を情報発信する
 ・良寛を通じて町民の郷土に対する認識を深め教育、学術文化の向上を図る

・町民の文化芸術観賞の機会の提供
 ・町内の文化活動を行っている関係諸団体と連携し、文化創作発表を推進
 (公民館文化サークル育成事業 サークル活動を通して技能の向上と仲間づくりなど、生涯学習の基礎づくりをする
 (公民館文化サークル 太極拳、書道、ガーデニング、英会話、ちぎり絵)
 ・町内の文化財の周知と保護の意識の向上及び適正な管理保存
 ・文化財保護団体の保護活動への補助
 ・妻入りの街並景観推進協議会の活動支援と妻入りの街並み景観の保存と活用
 ・街並活性研究会と連携し、東京芸大生による街並みのスケッチ画を継続的に残す等の事業を行い、出雲崎を町内外にアピールする
 ・探そう！生かそう！伝えよう！をテーマに町民から地域の「宝もの」を発見してもらい、それらを調査・活用していくことで、町民の視点で町の良さを町内外に発信する
 ・北前船日本遺産の推進

・わんぱく水泳教室 ・柔道教室 ・小学生スポーツチャレンジ教室 ・テニス教室
 ・さわやかスポーツ教室 ・トレーニング教室 ・ピラティス教室
 ・スキー&スノーボード ・町民ウォーキング
 ・町民バレーボール大会 ・町内ゲートボール大会 ・町民卓球大会
 ・町民ソフトバレーボール大会 ・屋内ゲートボール大会 ・町民バドミントン大会 ・町民登山
 ・柳津町・出雲崎町姉妹都市交流事業(青年野球・卓球・ゲートボール・中学校バレーボール)【体育協会共催】
 ・出雲崎町近郷ゲートボール大会【体育協会共催】
 ・スポーツ推進委員活動の支援と各種研修会への参加

IV 教育行政全般について

教育において社会的に問題化されている命に関わるいじめや体罰は避けられない課題です。本年度は、今までの課題の解消に向けてより充実した活動を推進していきます。子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中、個を伸ばす教育を推進し、「生きる力」を育み学ぶ意欲を重視した確かな学力の育成及び倫理観や人間性豊かな心の育成に努めます。

そこで、学校（間）・家庭・地域の連携を進めながら、子どもたち一人ひとりが自覚を持って、「学ぶ意欲」を高めることができる活動や学習環境を整備していきます。学校教育は、学校だけにまかせるものではありません。教育委員会も積極的に関わり、各分野で支援して参ります。

また、社会教育・社会体育活動においても、本町の充実した施設を活用して、地域特色を生かした取り組みで事業を実施します。町民みんなが、生き生きとした日々の暮らしの中でお互いに学び合い、健康で明るいまちづくりの社会形成ができるような施策を展開していきます。

そして、人権教育、同和教育の推進については、人権に関する理解を深め、すべての人々の人権を尊重し、互いの大切さを認め合う態度や行動力を児童生徒に身に付けてもらう教育を推進していきます。

▶教育費の概要（本年度当初予算）

一般会計全体	3,312,000千円
うち教育費	327,487千円

（単位：千円、％）

項目	予算額	構成比	項目	予算額	構成比
教育総務費	74,995	22.9	社会教育費	104,715	32.0
小学校費	73,950	22.6	保健体育費	23,968	7.3
中学校費	49,859	15.2	教育費合計	327,487	100.0

1 社会教育（生涯学習）について

本年度は、青少年や一般成人等を対象とした各事業について、学習ニーズの高まりや多様化に対応できるように内容の一層の充実を図っていきます。

さらに、自己実現や豊かな社会生活を実現するために、生涯を通じて学ぶことができ、その成果を適切に生かすことのできる機会の充実に努めます。

(1) 青少年教育

事業名	内容	時期・回数	会場
出雲崎ッズ	小学生対象にワークショップ、体験型の校外学習などの学習プログラムを通して積極性や社交性、自発的学習能力を養う	（夏休み） 年3回	中央公民館 町民体育館 ほか
家庭教育学級	幼児期、少年期、思春期の身体的、ライフステージにおける教育支援を実施	年1回	各保育園 小学校 中学校

学びアシストきらり塾	中学生対象に、難問題などを講師に質問し、課題を解決する。	年 36 回	中央公民館
放課後こども教室 放課後児童クラブ	放課後の安心安全な居場所づくりと学びの場を提供するために一体的に実施する。	通年	小 学 校
ノーメディア・デー	「0のつく日はノーメディア・デー」と定めメディア等に関わる時間を減らし家族とのふれあいや絆を深めるために実施	年 35 回	各 家 庭

(2) 一般成人教育

総合大学	出雲崎町民の必要課題・要求課題を総合的に網羅した講座を開催することにより、住民の学習意欲を促進し、健康で文化的な活力にあふれ、生きがいのある生涯学習社会の実現を目的に開催する	年 1 2 回	中央公民館 ほか
料理教室	食の安全と健康を考えながら、手軽で簡単な調理方法を学ぶ	年 4 回	中央公民館
フラワーアレンジメント 教室	季節の花を使った簡単アレンジの基礎を楽しく学ぶ。 日常に潤いをもたらす。	年 6 回	中央公民館
おうちパン	自宅でフライパンなどを使い手軽で簡単な調理方法を学ぶ	年 4 回	中央公民館
絵 本 読み聞かせ	子育て中の家族を対象に絵本に触れ合う機会を提供し、読書の大切さを学ぶ	年 4 回	中央公民館 ほか
古文書教室	古文書に慣れ親しむ、初級の教室	年 4 回	中央公民館

(3) 文化サークル

太 極 拳	太極拳を通して、体力づくりとメンバーの親睦を深める	毎週水曜日	中央公民館
ガーデニング	心に潤いをもたらすよう園芸の基礎を学ぶ	年 7 回程度 土曜日	中央公民館
書 道	書道の基礎を学び、日ごろの生活へ活用する	毎月第 1・3 月曜日	中央公民館
英 会 話	本場の英語にふれ簡単な英会話を学ぶ	毎月第 2・4 木曜日	中央公民館
ちぎり絵	ちぎり絵画の基礎を学ぶ	毎月第 2 木曜日	中央公民館

(4)文化活動

良寛さんの心書道展	昭和56年に良寛没後150年を記念して開催された「良寛書道展」を引き継ぎ、現在は子どもたちに良寛さんの優しい心を継承するため、町内の小・中学生を対象に作品を募集展示する	9月	中央公民館
生涯学習フェスティバル	公民館が実施している各種文化教室やサークル活動の発表の場を提供するほか、一般町民の芸術・文化に関する作品などを展示する	11月2・3日	中央公民館 町民体育館
文化芸術鑑賞	文化芸術に対する知識と理解を深め、広く芸術鑑賞の機会を提供する	未定	町民体育館
良寛学習	良寛の遺徳と慈愛の精神を大切に思い、地域の誇りとして後世に語り継げるよう小中学校の9年間実施する	通年	小学校 中学校

(5) 公民館等の利用状況

(単位：人)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
中央公民館	12,031	11,549	10,908	11,699	11,246
海岸公民館	2,177	3,086	3,074	3,081	2,414
図書館等	2,896	2,512	2,149	1,639	2,059

2 図書館について

本年度の図書館事業についても、多くの町民が本に親しめるように、中央公民館ロビーの一部を図書スペースとして整備していますし、海岸公民館と併せて、今後さらに充実した図書の環境整備を進めていきます。

図書館蔵書冊数

令和2年4月1日現在

分類別 館別	000	010	020	030	040	050	060	070	080	090	合計	児童 (再掲)	郷土 (再掲)
	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術、工学	産業	芸術、美術	言語	文学			
海岸公民館	1,168	562	1,158	1,304	1,111	855	303	1,081	162	10,385	18,089	5,799	800
中央公民館	3,313	668	2,028	1,698	994	865	336	1,506	231	8,375	20,014	3,412	3,005
合計	4,481	1,230	3,186	3,002	2,105	1,720	639	2,587	393	18,760	38,103	9,211	3,805

3 良寛記念館について

良寛記念館は、本町の貴重な歴史的、文化的遺産であり、良寛生誕の地として地域の誇りとするとともに、次世代へも確実に引き継いでいくため、良寛に関する資料の収集、保管及び展示をし、博物館としての機能充実に努めてまいります。

また、聖僧良寛を通じて町民の郷土に対する認識を一層深め、地域文化・教育の中核拠点として、解りやすい、親しみやすい事業を展開していきます。

さらに、良寛の遺徳をたたえ、永く後世に引き継ぐことが重要であり、町の良き歴史や伝統文化を町内外に情報発信していきます。

- (1) 収蔵資料の整理と適切な保管・管理
- (2) 魅力的な展示企画と好感もてる来館者への配慮
- (3) 広報活動の積極的な展開と関係団体との連携・協力

(4) 学校教育・社会教育との連携強化

(5) 良寛記念館入館者数

(単位:人)

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
11,331	10,512	9,751	10,225	11,394



平成 28 年 8 月に
「国の有形文化財」に登録されま
した。

良寛記念館

4 文化財行政について

歴史と文化があふれる本町は、町内にある文化財の保護・保存とそれを活用した文化の向上をめざしていきます。さらに、各地区に眠っている文化遺産や民俗・風習等に注目し、「まちの宝もの」としての発掘を推進していきます。

(1) 国の登録有形文化財一覧

名称	登録番号	所在地	所有者等	登録年月日
割烹みよや	第15-0167号	羽黒町	大矢久幸	H15. 7. 1
季節宿國安主屋	第15-0258号	田中	國安誠人	H19. 7. 31
季節宿國安土蔵	第15-0259号	田中	國安誠人	H19. 7. 31
良寛記念館展示棟	第15-0452号	米田	出雲崎町	H28. 8. 1
良寛記念館管理棟	第15-0453号	米田	出雲崎町	H28. 8. 1
良寛記念館回廊	第15-0454号	米田	出雲崎町	H28. 8. 1

(2) 新潟県指定文化財一覧

指定番号	名称	所在地	所有者・管理者	指定年月日	備考
彫刻第28号	木造薬師如来坐像1体	滝谷薬師堂	大門正応寺	S46. 4. 13	平安末期
工芸品第26号	鱒口1点	滝谷薬師堂	滝谷薬師保存会	S57. 3. 26	応永33年
史跡第8号	良寛生誕地 橘屋跡	石井町60の乙	出雲崎町	S27. 12. 10	江戸後期
史跡第34号	尼瀬油田機械掘第1号井跡	尼瀬字町裏6-3	出雲崎町	S41. 3. 18	明治中期
天然記念物第66号	小木ノ城山の樹叢	相田	出雲崎町 新潟漁業協同組合 出雲崎支所	H 4. 3. 27	

(3) 出雲崎町指定文化財一覧

内訳	指定番号	名 称	所在地	所有者・管理者	指定年月日	備 考	
有形文化財	建造物第1号	薬師寺山門1棟	相田	薬 師 寺	S62. 1. 23	明治14年再建	
	建造物第2号	季節宿国安物置	田中	國 安 誠 人	H27. 7. 22		
	彫刻第1号	木造阿弥陀三尊立像3体	相田	薬 師 寺	S62. 1. 23	南北朝	
	彫刻第2号	不動明王立像1体	相田	薬 師 寺	S62. 1. 23	江戸初期	
	彫刻第3号	不動明王立像1体	小木	三 光 院	S62. 1. 23	鎌倉末期 ～南北朝	
	彫刻第4号	観世音菩薩立像1体 (木喰作)	川西	高 橋 ミ ヨ キ	S62. 1. 23	文化2. 7 (1804)	
	書跡第1号	上杉景勝白願書1通	米田	多 聞 寺	S62. 1. 23	天正15. 8. 17 付(1587)	
	書跡第2号	堀秀治書状1通	米田	鳥 井 儀 資 出雲崎町教育 委員会	S62. 1. 23	慶長10. 8. 28 付(1605)	
	書跡第3号	上杉謙信御願文1巻	相田	薬 師 寺	S62. 1. 23	永禄6. 7. 18 付(1563)	
	書跡第4号	良寛遺墨13点	米田	出 雲 崎 町	S62. 1. 23	H31. 3. 7 追加指定	
	古文書第1号	出雲崎・尼瀬分間絵図 1巻	米田	多 聞 寺	S62. 1. 23	文化7. 6 付 (1810)	
	考古資料 第1号	縄文土器1点	米田	出 雲 崎 町	S62. 1. 23		
	考古資料 第2号	縄文土器・石器14点	稲川	駒村善左工門	S62. 1. 23		
	歴史資料 第1号	良寛遺品法華経断片1紙	米田	出 雲 崎 町	S62. 1. 23		
	歴史資料 第2号	良寛遺品布団縞切れ1点	米田	出 雲 崎 町	S62. 1. 23		
	歴史資料 第3号	良寛遺品枕地藏1体	石井町	出 雲 崎 町	S62. 1. 23		
	歴史資料 第4号	良寛遺品錫杖の環・笏 各1点	米田	出 雲 崎 町	S62. 1. 23		
	歴史資料 第5号	算 額	滝谷	滝谷薬師保存会	H20. 4. 25	明治2年	
	有形民俗	有形民俗 第1号	船絵馬29面	羽黒町	羽 黒 神 社	S62. 1. 23	明治16年 ほか(1883)
		有形民俗 第2号	絵馬7面	船橋	三 島 神 社	S62. 1. 23	H31. 3. 7 追加指定
有形民俗 第3号		船絵馬	尼瀬	光 照 寺	H31. 3. 7		
無形民俗	無形民俗 芸能第1号	出雲崎おけさ		伝 承 団 体 出雲崎おけさ保存会 秀 和 会	S62. 1. 23		
	無形民俗 芸能第2号	お船歌		伝 承 団 体 新潟漁業協同組合 出 雲 崎 支 所	S62. 1. 23		
記念物	史跡第1号	小木城跡	相田	出 雲 崎 町	S49. 3. 23	南北朝	
	史跡第2号	天河句碑(銀河序)1基	住吉町	出 雲 崎 町	S62. 1. 23	昭和29年	
	史跡第3号	赤坂山古戦場	乙茂	出 雲 崎 町	S62. 1. 23		
	史跡第4号	代官所跡	尼瀬	出 雲 崎 町	S62. 1. 23		
	史跡第5号	孝婦ゆりの碑2基	尼瀬	善 勝 寺	S62. 1. 23		
	史跡第6号	俳諧伝灯塚2基	尼瀬	妙 福 寺	S62. 1. 23		

記念物	史跡第7号	出雲崎代官所獄門跡	尼瀬	出雲崎代官所獄門跡保存会	H22. 9. 9	
	天然記念物第2号	宇奈具志神社の大椎	乙茂	宇奈具志神社	S62. 1. 23	
	天然記念物第4号	大慶寺の大櫃	大寺	大慶寺	S62. 1. 23	
	天然記念物第5号	延命寺のおんこう	別ヶ谷	延命寺	S62. 1. 23	
	天然記念物第6号	ユキバツバキの生育地	中山相田	中山 高橋健一ほか 三条市 斎藤雅	H25. 2. 25	
	天然記念物第7号	三島神社の大杉	船橋	三島神社	H25. 9. 5	
合計	県指定	彫刻 1 工芸品 1 天然記念物 1 史跡 2			計 5 件	
	町指定	建造物 2 彫刻 4 書跡 4 古文書 1 考古資料 2 歴史資料 5 有形民俗 3 無形民俗芸能 2 史跡 7 天然記念物 5			計 35 件	

5 社会体育について

町民一人ひとりが生涯健康でスポーツに親しみ、充実した生活が送れるように各種の体育事業を実施していきます。特に今年度は、近年の健康志向の機運向上を受け、社会人や高齢者向け教室を更に充実していきます。また、さわやかスポーツ教室などの、身体を動かす楽しさを実感できる事業を進めていきます。

(1) 町内大会・教室

大会名	期日	対象	会場
第14回 町民ウォーキング	10月11日	一般	町内
第39回 町内ゲートボール大会	10月13日	一般	屋内ゲートボール場
第31回 町民ソフトバレーボール大会	11月8日	一般	町民体育館
第5回 町民卓球大会	12月6日	一般	町民体育館
第34回 屋内ゲートボール大会	2月9日	一般	屋内ゲートボール場
第40回 町民バドミントン大会	3月14日	一般	町民体育館
わんぱく水泳教室	7月27日～31日	児童	町民プール
柔道教室	通年	児童	柔道場
柔道昇級審査会	11月29日	児童	柔道場
さわやかスポーツ教室	通年	一般	町民体育館ほか
小学生スポーツチャレンジ教室	バレーボール 5月～9月 卓球 5月～11月 バスケットボール 10月～12月	児童	町民体育館
トレーニング教室	5月～11月	一般	トレーニングルーム
ファミリースキー&スノーボード教室	2月16日	一般	県内スキー場
太極拳教室	5月～12月	一般	中央公民館
ピラティス教室	5月～7月	一般	中央公民館

(2) スポーツ推進委員研修会等

事業名	日程	会場
北陸地区スポーツ推進委員研修会	10月	長岡市
二市三刈羽ブロック研修会	11月28日	出雲崎町
新潟県スポーツ推進委員大会	10月	長岡市
中越地区社会体育総合研修会	11月28日	出雲崎町

(3) 体育協会（共催）関係事業

事業名	日程	会場
柳津町・出雲崎町姉妹都市交流事業	7月～9月	野球（青年）、卓球、ゲートボール
第19回出雲崎町近郷ゲートボール大会	3月3日	屋内ゲートボール場

(4) 社会体育施設

施設名	設置年月	面積(m ²)	備考
多目的運動場	平成30年4月	2,234	テニスコート2面 フットサルコート1面（テニスコート併用） フリースペース（テニス・サッカー練習版設置） ナイター照明
町民体育館	昭和59年10月	2,799	バレーボールコート 3面 バスケットボールコート 2面 バドミントンコート 6面 トレーニングルーム器具一式 (平成22年3月設置)
町民野球場	平成3年3月	10,799	ナイター照明 4基 外野グリーンサンド仕様
柔道場	平成5年6月	315	161.5畳
屋内ゲートボール場	平成5年6月	514	クレーコート 1面
屋内ゲートボール場 (増設分)	平成15年1月	512	クレーコート 1面
町民プール	平成5年6月	400	競泳用プール 25m×8コース 遊泳用プール ウォータープレイシステム 1式 ウォータースライダー 20m

(5) スポーツ団体の状況

(令和2年4月1日現在、単位：人)

出雲崎町体育協会 9団体 265人			
構成団体	会 員	構成団体	会 員
野球協会	60	ゲートボール協会	67
バドミントン協会	10	卓球クラブ	28
出雲崎スカイヤーズ	15	てんてん手毬	18
出雲崎ランニングクラブ	25	出雲崎町インディアカクラブ	22
出雲崎サッカースクール	20		

V 出雲崎町学校教育計画

1 出雲崎町がめざす学校教育の姿

夢・感性あふれる教育

◎知・徳・体の調和がとれた人格の形成を目指して、主体的に学び、何事に対しても意欲的に取り組む態度と学んだことを活用し、周囲の人と協働して問題を解決する力を身に付けた人間の育成

【学校運営】

- ◎明確な目標を達成するため組織的な教育活動の推進
- ◎主体的に学び、協働して問題解決にあたる子どもを育てるため小・中学校の連携の下一貫した教育の推進
- ◎一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

【家庭】

- ◎基本的な生活習慣の育成
- ◎家庭で行う基本的な規範意識の醸成
- ◎豊かな人間性を育む、家庭内の人間関係づくり
- ◎家庭学習の見取りと学習習慣確立のための支援

【教職員】

- ◎指導力向上に向けた、組織的継続的な研修の推進
- ◎自己の職務を自覚し、職責を確実に遂行する教職員の育成
- ◎一人一人の子どもに向き合うことができる、信頼される教職員の育成

【地域】

- ◎子どもの社会性を育む地域行事の実施
- ◎学校支援地域本部事業によるキャリア教育の推進
- ◎子どもの見守りと安全確保
- ◎「良寛」学習を支援するための教育的環境の整備

発達段階を踏まえた組織・計画的な指導

学校教育を支援する教育委員会の役割

- ◎学校と教育課題を共有し、課題解決に向けた教育基盤の整備
- ◎地域や保護者のニーズに応える、学校教育体制づくりの支援
- ◎家庭教育と学校教育の連携を円滑にするための体制づくりの推進
- ◎学校教育を円滑に行うための、行政や他の関係機関との連携
- ◎地元の偉人「良寛」を柱とした、郷土愛を培うキャリア教育の推進

2 出雲崎町の学校教育の基本的な理念

☆生きる力の基盤となる確かな学力の育成(知)

- ◎知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力の涵養
- ・主体的・対話的で深い学びの実現
 - ・「見方・考え方」を働かせる授業改善
 - ・学習評価の充実
 - ・よい点や進歩の状況を積極的に評価
 - ・学習規律と家庭学習習慣の構築
 - ・興味関心に基づく学びを大切にする指導

☆豊かな心、倫理観、規範意識をはぐくむ教育の推進(徳)

- ◎善悪を的確に判断し、互いに認め合い協力して活動する能力の育成
- ・自他の行為の善悪を的確に判断する力の育成
 - ・家庭や地域の人々の協力を得た道徳教育の充実
 - ・自他を大切にし、思いやりのある行動をする態度の育成
 - ・ボランティア活動や自然体験活動等の豊かな体験の充実
 - ・自己有用感の育成
 - ・一人一人が活動できる場の設定と見取り、効果的な称賛

夢・感性あふれる教育

☆夢と志をもち、健康でたくましい心身の育成(体)

- ◎積極的に挑戦する態度、最後までやり抜く強い意志と行動力を支えるたくましい心と健康な身体の育成
- ・基本的な生活習慣定着に向けた自己管理能力の育成
 - ・早寝、早起き、十分な睡眠、朝食の習慣確立の指導
 - ・ゲームやSNS使用のルールを家庭内で確立する指導
 - ・自らの夢を描き社会貢献の大切さを実感する機会の確保
 - ・自らの生活を振り返り将来を思い描く場の設定と指導
 - ・スポーツに親しみスポーツを楽しむ機会の確保
 - ・保健体育、体育的行事、クラブ活動、部活動の充実

3 学校及び家庭・地域の具体的な取組

学校の取組

- ◎学校運営
 - ・明確な数値目標を達成する組織的な教育活動の推進
 - ・「計画・実施・評価・改善」サイクルの学校評価の実施
 - ・児童・生徒の生活指導を基盤に据えた教育活動の推進
 - ・学校教育の基盤として、温かな人間関係づくりを中核に据えた学級経営の充実
- ◎特別支援教育
 - ・障害の種類や程度を的確に把握し、一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実
 - ・一人一人の困り感に対応する合理的配慮の実現
 - ・医療機関や福祉機関と連携した個別の教育支援計画に基づき適切な支援の継続
 - ・適切な指導を行なうための保護者との連携の深化
- ◎教職員
 - ・教職員としての資質・能力を高める校内研修の充実
 - ・互いに研鑽し、高めあう職場風土の醸成
 - ・9年間を見通した小中連携教育のための町教研の充実
 - ・児童・生徒や保護者と結ぶ豊かな人間関係の構築
- ◎地域との連携
 - ・地域人材を積極的に活用した教育活動の推進
 - ・学校評価の結果公表による説明責任の履行

地域や保護者とともに創造 する学校教育活動の展開

家庭の取組

- ◎基本的な生活習慣の確立
 - ・規則正しい生活リズムをつくる朝食習慣と十分な睡眠時間の確保の指導
 - ・ゲームやSNS使用に関わるルールづくりを親子で話し合い、定期的な点検の実施
- ◎規範意識の確立
 - ・発達段階に応じた社会ルールの指導
 - ・自己の役割と責任に対する意識付け
 - ・善悪を的確に判断する能力を培う家庭内ルールの設定と指導
- ◎豊かな人間性の育成
 - ・あいさつの習慣、適切な言葉遣いを身に付ける家庭教育の充実
 - ・子どもの話に耳を傾け、子どもの思いを受け止めることで自己肯定感の醸成
- ◎学習支援
 - ・家庭学習の見取りと支援・確認
 - ・知的好奇心を高める読書習慣の確立

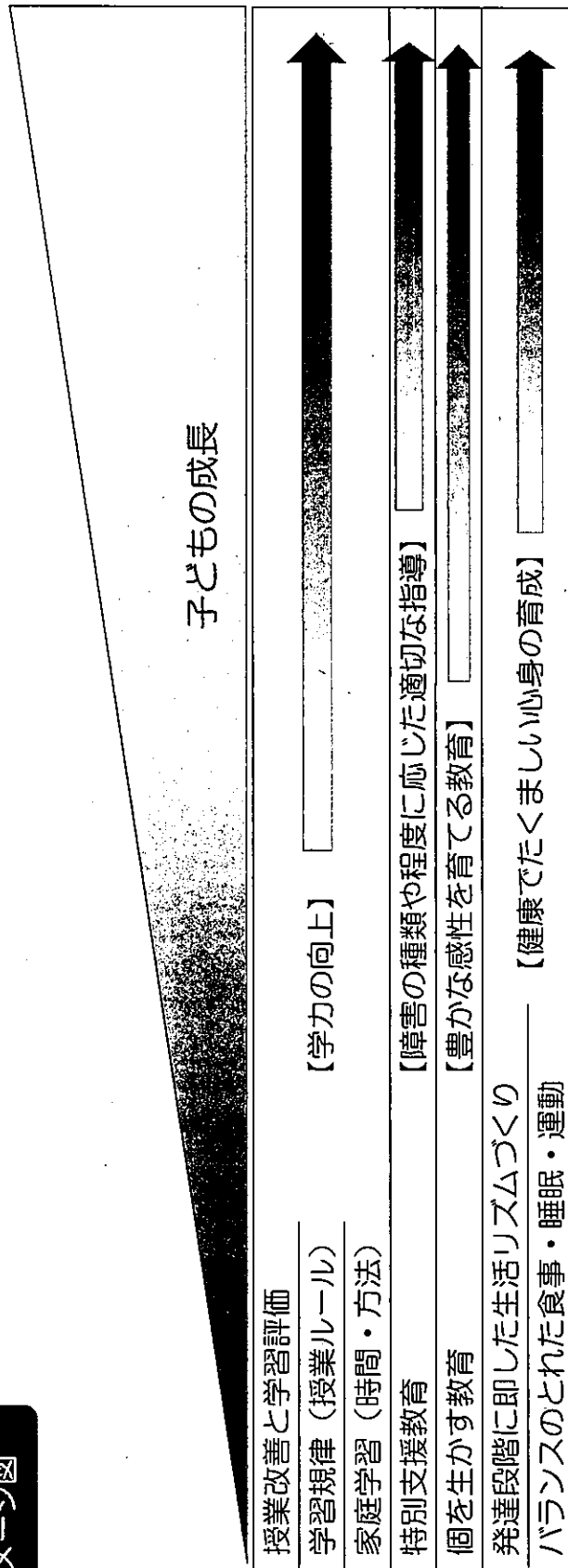
地域

- ・学校支援地域本部事業による地域人材活用とキャリア教育の充実
- ・地域全体による子どもの見守りによる登下校時の安全確保
- ・学校の教育方針の理解の下、学校と一体となった教育活動の展開
- ・地元の偉人“良寛”に学ぶ“心の教育”の支援

4 出雲崎町の小・中連携による教育

- 1) 小学校と中学校が共通基盤に立った指導により、義務教育9年間を一貫した指導方針の下で子どもを育てることができる。
- 2) 小学校と中学校が共通基盤に立った指導により、教職員が子どもの実態について共通理解の下で指導することができる。
- 3) 小・中学校の教職員が研修交流を通じてお互いの指導方法や課題について理解を深め、自校の指導に生かすことができる。
- 4) 小・中連携教育により、中学校入学に伴う環境変化に対応できないう子どもに対してきめ細かに対応することができる。
- 5) 出雲崎町としての教育方針が保護者に対して明確になり、保護者と一体となった教育を進めることが可能となる。

イメージ図



共通基盤の指導事項

授業改善と学習評価

学習規律（授業ルール）

家庭学習（時間・方法）

特別支援教育

個を生かす教育

発達段階に即した生活リズムづくり

バランスのとれた食事・睡眠・運動

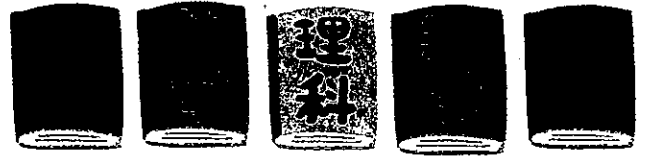
【学力の向上】

【障害の種類や程度に応じた適切な指導】

【豊かな感性を育てる教育】

【健康でたくましい心身の育成】

学校教育に対する民間の理解と協働



小中連携教育の実践

小中連携教育を効果的に行うために、次の2点に配慮した取組を行う。

1点目は自前の研修だけでなく、中越教育事務所による計画訪問により専門的な指導を受ける機会を設ける。2点目は教員相互の交流だけでなく、子ども同士の交流を深める場を計画的に設定する。

また、教育委員会の事業として、世界や日本の第一線で活躍する講師を招いての講演会を開き、子ども達の夢や勇気の高揚を図る。

○小中学校連携教育の具体的実践内容は次のとおりである。

- (1) 町教育研究会による、小中学校合同研修の実施
- (2) 「いじめ見逃しゼロスクール集会」での小中児童生徒の交流
- (3) 「未来の夢子ども体験講演会」における児童生徒合同講演会の実施

- 第1回 アルピニスト 野口 健 氏
- 第2回 オリンピックメダリスト 有森 裕子 氏
- 第3回 数学者・大道芸人 ピーター・フランクフル
- 第4回 ダビンチ工房理事長 滝川 洋二 氏
- 第5回 JAXA研究員 細田 聡史 氏
- 第6回 元なでしこジャパン 大竹 七未 氏
- 第7回 元関取 舞の海 秀平 氏
- 第8回 作家 乙武 洋匡 氏
- 第9回 オリンピックメダリスト 中村 真衣 氏
- 第10回 海の手配師 石垣 幸二 氏
- 第11回 元ビリギャル 小林 さやか 氏
- 第12回 杏林大学教授 金田一 秀穂 氏
- 第13回 元サッカー日本代表 北澤 豪



(R1 未来の夢子ども体験講演会)

- (4) 中学校英語科教育補助員の小学校外国語活動への派遣

5 9年間を見通した出雲崎町の学校教育計画

《具体的な目標》

夢・感性あふれる教育

【知】 CRT 100以上
NRT 50以上

【徳】 規範意識をもち他と協力して活動できる子どもが80%以上

【体】 自らの生活を振り返り、目標達成度が80%以上

	小学校	中学校
発達区分毎の ねらい	<p>小1・2・3・4</p> <p>小学校教育の特質を生かし、きめ細かな指導による基本的な生活習慣の確立や授業における基礎的・基本的な内容の定着を図る。 学級づくりをとおして、互いを尊重することや規則を守ることの大切さを理解させる。</p>	<p>中1</p> <p>小学校で身に付けた学習内容を活用し主体的に学習する態度を指導する。生活面では、中学生として規律ある生活態度を育成する。</p>
	<p>小5・6</p> <p>小学校から中学校への移行を目指した指導を行なう。4年生までに学んだ内容を活用して主体的に学習する場面を意図的に位置付けた指導を行なう。他の児童の考えや立場を理解し、主体的・対話的で深い学びとなる活動を位置付けた指導を行なう。</p>	<p>中2・3</p> <p>義務教育9年間のほとんどの時期を満喫し、自分なりの学習法を身に付け、進路実現に向けて主体的に学習する態度を育てる。 生徒会活動や部活動・課外活動においてリーダーとして、周囲の人と協働して問題解決にあたる態度を身に付ける。</p>
学習 (知)	<p>学習内容を自分の言葉で説明できる能力の育成</p>	<p>既習事項を活用したり自他の考えを比較したりして理解を深める指導</p>
生活	<p>授業中の姿勢・持ち物等の基本的な事項の指導</p> <p>聞き方・話し方の基本的な指導</p> <p>授業と関連させた家庭学習の指導</p>	<p>主体的な学習準備・授業開始のけじめ指導</p> <p>状況に応じて積極的に学習に取組む主体的な態度の活動育成</p> <p>主体的に取組む家庭学習の指導と支援</p>
(徳)	<p>豊かな心、倫理観、規範意識の醸成。互いに認め合い、協力して活動する能力の育成</p> <p>発達段階に応じた規範意識の確立・集団活動の基本的なルール徹底</p> <p>決まりや約束事に従って友人と活動できる態度の育成</p> <p>自分のよさに基づかせる指導</p> <p>自分の気持ちの育成と相手の立場に立って考える態度の指導</p> <p>相手の立場に立って、感情や考えを分かり易く伝える</p>	<p>自立した生活態度の育成</p> <p>溢れかたな人間関係の育成</p> <p>集団の一体として他者と協力して活動する態度の育成</p> <p>自分の個性を理解すると共に、言葉が他者に及ぼす影響の指導</p> <p>相手の考えを受け止め・尊重し、自分の考えを建設的・協力的に伝える</p>
(体)	<p>バランスのとれた食事や睡眠時間の確保など基本的な生活リズムの指導の徹底</p>	<p>主体的な自己管理能力の育成</p>
特別支援教育	<p>障害の種類・程度・程度の異なる児童に基づく個別の教育支援計画の作成</p> <p>児童・生徒の的確な把握と困り感に基づいた個別配慮、保護者との相互理解に基づき指導内容の見直し及び関係機関と連携した指導の継続</p>	<p>適正な進路の選択</p>

6 出雲崎町の学校教育9年間の指導系統図

【学習指導】

- ・授業のねらいの明示・学習内容の振り返り
- ・知識・技能の確実な習得
 - ・漢字を書く、文章をはっきり音読する
 - ・文章を正確に読み取る
 - ・文章を正確に書く
 - ・思考力・判断力・表現力の育成
 - ・発言の仕方や聴く態度を身に付ける
- ・自分なりの考えをもつことのできる指導
- ・既習内容を基に自分の考えをまとめる指導
- ・小学校での基礎・基本の基礎に立って学習内容を深める指導
 - ・文章の意味を理解する
 - ・文章の意味を再読みし、自分の言葉で説明する
 - ・主文が明確な文章を書く
 - ・様々な文例を活用した文章を書く
 - ・考えを交換する意味を知る指導
 - ・既習学習を活用したり、他の考えを聴いたりして、思考を深める指導
 - ・分かりやすい説明をし、他の話をしつかり聴く
 - ・意見交換により自分の考えを整理する
 - ・自分と他の考えの相違を明確にし、自分なりの考えを的確に表現する

【学習規律】

- ・始業前にきちんと着席して待つ指導
- ・始業前に学習準備を促す指導
- ・相手を罵るのを防がず話を聞く指導
- ・忘れ物をしないための前日準備の指導
- ・指名に返事をしつ起立する指導
- ・手を挙げてはきはきと発言する指導
- ・周囲に配慮した、授業中の行動指導（許可なく離席したり、用なく立ち歩いたりしない）

【家庭学習】

- ・宿題を必ずやり遂げる指導（復習の内容）
- ・授業に関連させた課題の宿題（復習・予習）
- ・授業を意図づけられた宿題
- ・授業を意図づけられた宿題
 - ・宿題中心に自主学習を行う
 - ・宿題中心に自主学習を行う（教員の指導が必要）
 - ・授業に取組んだ自主学習を行う
 - ・主体的に計画した家庭学習を行う
 - ・授業を再読し、理解を深める（授業への意図づけ）
 - ・教員の見取りと適切な指導や支援
 - ・定期テストに向けた計画的な自主学習
 - ・週末課題の確実な実施（保護者、教員による確認）

小学校入学

小学校中学年

小学校高学年

中学校入学

義務教育最上級学年

【特別支援教育】

- ・児童の障害の正しい理解（障害の種類・程度・家庭環境・保護者の意向）
- ・保護者、学校、関係機関による情報の共有と確認（児童の状況の変化に応じた情報交換の実施）
- ・「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」の作成による適切な指導
- ・担任、専門職員等の連携による作成（成長過程における見直しと新たな個別の指導計画・教育支援計画の作成）
- ・進学時に適切な情報の伝達（小・中、特支へ）
- ・進学時に適切な情報の伝達（中・高、特支へ）

【生活（徳）】（その場での適切な指導が基本）

- ・善悪の判断基準を明確にした指導
- ・基本的なコミュニケーション能力の習得
 - ・時と場合合った言動の実践
 - ・相手の気持ちを伝える
 - ・相手の気持ちを考える
 - ・人により考えや行動の違いがあることを知る
 - ・集団の一員としての自覚を持った行動
 - ・集団に対する自覚と責任をもつ
- ・集団における役割の意味を指導
- ・与えられた役割をしつかり果たす
- ・個人差を踏まえた行動をする
- ・高学年としての自覚ある行動
- ・主体的に集団を組織、運営に関わる
- ・コミュニケーション能力の育成
- ・誰でも受け入れられし活動をする
- ・集団の意味を考え、他者と協調した活動をする

【生活リズム（体）】

- ・基本的な生活リズムの指導の徹底
- ・早寝、早起き、朝ご飯をしっかりと食べる
- ・ゲームやSNS使用時間の指導
- ・下校後の時間活用を考える（保護者による指導）
- ・基本的な生活リズムの意味の指導
- ・早寝、早起き、朝ご飯の意味を知る
- ・計画的なメディアの活用を指導
- ・保護者による指導
- ・主体的な生活リズムを守る
- ・情報モラルとメディア・コントロールの指導
- ・自分での下校後の時間設計を行う
- ・主体的な生活リズムの設計
- ・主体的な生活リズムを守る
- ・情報モラルとメディア・コントロールの指導
- ・自分での下校後の時間設計を行う
- ・メディアの利便性と危険性を知る
- ・情報モラルとSNS依存症の指導
- ・学習中心の下校後の時間設計を行う

VI 各種教育計画の大綱 〔出雲崎小学校〕



校長 五十嵐 悟



1 教育目標

だれとでも仲よくする子 すすんで学びとりくむ子

○ めざす児童像について

子供たちは、いろいろな人とかかわりながら心を成長させていく。「うまくいくこと」もあれば「うまくいかないこと」もある。しかし、それらを粘り強く一つ一つ乗り越え、積み重ねていくことが本人の中で「自信」となり成長の足跡として残って行く。

子供同士が互いを認め、励ますことでその作用はさらに強くなる。この「仲間意識」を醸成することは、学校の大切な役割の一つである。出雲崎に生きる子供たちにつけたい力である。子供たちの好奇心は旺盛で、学びたいという気持ちをもっている。「させられる」ことが「したい」ことになったとき、真の学びが始まる。

そして、「できなかったことができるようになった。」という達成感や自分のしたことが「みんなの役に立ってよかった」などの自己有用感が生まれ、「自分は、なかなか頑張ったな」という自尊感情が基になり自主性が育つ。

さらに、そこに自分の将来を思い描きながら、今の自分に何が大切なのかを考え、粘り強く目標に向かって努力を重ねられる子供たちにしたい。

みんなで励まし合い、力を合わせて活動すると

↓
心が豊かになり、本当の楽しさを感じることができる

↓
「またみんなと一緒にやりたい」「自分の力を伸ばしたい」
「もっと楽しくなるように工夫したい」「自分も、みんなの役に立ちたい」
「他の人にもこの楽しさを一緒に味わってもらいたい」。

教育目標はこういう気持ちを育てていく中で育まれていく。その具現に向けて学校、保護者、地域が三位一体となった取組を進める。

2 子供たちにつけたい力

知・徳・体のバランスのとれた力を育てていきたい。

『知』：基礎基本を身に付けた確かな学力こそが仲間とともに学ぶ原動力となる。

「聞く・話す」力を伸ばす場

「学ぶ」意欲を喚起する「問い」

「読む」ことによる情報収集力の向上

『徳』：仲間を思いやる心こそ、基本である。

相手意識のもてる活動の展開

自己肯定感・自己有用感を感じさせることができるボランティア等の活動

『体』：最後まであきらめないでがんばろうという「気力・体力」

これらを総合した力を「出雲崎学力」と規定し、出雲崎の子供を育てていく。

3 教育目標具現への歩み

昭和 53 年に西越小学校上校舎・下校舎が統合し、新校舎が現在地に竣工した。平成 12 年に旧出雲崎小学校と統合し、現在の出雲崎小学校となってから今年度は 21 年目を迎える。校地は小高い丘にあり、校舎裏はナラの木が茂る貴重な里山である。そこは「ほなみが丘」と名付けられ、小鳥がさえずる自然豊かなオアシスで、子供が大好きな遊び場になっている。

地域の人々は協力的で、登下校の安全確保や学校ボランティア等に積極的で、共に子供を育てていこうとする良き気風に溢れている。そういった環境の中で伸び伸びと子供たちは育ってきている。

4 教育目標具現のための「推進力」

地域の力

出雲崎町は、豊かな自然・歴史・文化・産業等に恵まれている。そのほとんどが教材に活用できるほど、教育財産の宝庫である。また、学校支援地域本部事業の成果により、当校の教育活動に地域の専門家の協力態勢がしっかりできている元年度も、1 年間で延べ 860 余名の学習ボランティアから、子供たちの学びに協力をいただいた。また、町のスクールバス等を最大限に活用した地域学習も充実することができた。この地域と一体となった学びは、出雲崎小学校の教育の特色であり、今後一層、成果があがるように改善していく。

また、27 年度発足した「ほなみが丘またぎ」の皆さんからは、昨年度もほなみが丘の整備や校地内樹木の伐採で活躍いただいている。

保護者の力

保護者と学校は互いに子育てのベストパートナーでありたい。連絡を密にして、家庭の教育力や PTA 活動など、大いに保護者の力を借りる。信頼関係を構築し、双方向の連絡が取り合えることを心がける。

教職員の力

支え合い、磨き合う教職員集団でありたい。

ア 児童の最大の教育環境は教職員

教師の言動、教育への情熱、人間関係力等の手本を示す。

イ 児童理解と個に応じた指導

学級経営を基本に、一人一人の「困り感」に寄り添い、解消に向けて全職員が共通理解を図り取り組む。

ウ 問題解決は、全教職員の英知と行動力を結集

「報告・連絡・相談・確認」を最重視し、組織的な対応や実践を進める。

エ 児童、保護者、地域との信頼関係づくり

- ・保護者との連携を密にし、保護者の相談できる窓口を用意し、教育相談による困り感の解消に向けて取り組む。また、地域貢献活動を計画し学社融合の活動展開を押し進め、キャリア教育を強化する。
- ・非違行為を出さない、生まない規範意識の高揚と非違行為根絶に向けて声掛けし意識を高め合う。

5 今年度の重点施策

児童の実態と学校の実情を考え、次の 3 つの柱からの具体的な取組を通して、子供たちの健やかな成長を図っていく。

確かな学びを創る	豊かな感性と社会性を育む	健康・安全と体力の向上
<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の定着 ・家庭学習（学年×10分以上） ・確かな学力を身に付けるステップアップテスト ・かかわり合う学び ・外国語コミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ差別 0 の取組 ・人権を考える授業 ・異学年交流の充実 ・あいさつ、ボランティア活動の推進 ・キャリア教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてをもった運動への取組 ・メディアとの関わり方改善 ・眠育の推進 ・家庭と共に食育の推進

令和2年度 出雲崎小学校のグランドデザイン

■教育目標 誰とでも仲良くする子
すすんで学び とりくむ子

■年度の重点目標 子どもが生き生きと学ぶ学校

- <大切にすること>
- I 自分の将来を考え、意欲をもって学習に取り組めるようにします。
 - II みんなの役に立つことに進んで取り組めるようにします。
 - III 家庭・地域と共に進める教育活動を充実します。

確かな学びを創る

まなびの部

目指す子どもの姿

◇確かな学力を身に付け
意欲的に学び続ける子

- (1)課題解決に向けて自ら考え取り組む
- (2)学習したことを活用して表現する

やる気

そのために学校では

- 学習習慣の定着を図ります。
- 確かな学力を身に付けるためにステップアップテストに取り組みます。
- かかわり合って学ぶ授業を行います。
- 外国語活動でコミュニケーション力を伸ばします。

主な評価目標

- ・児童アンケートで「進んで学習に取り組むことができた」と答える児童が85%を目指します。
- ・目標とする家庭学習時間の定着率が80%以上を目指します。

家庭との連携

- ☆家庭学習の声かけと宿題や自学ノートの確認

豊かな感性と社会性を育む

こころの部

目指す子どもの姿

◇思いやりと自尊感情をもち
自ら心を耕し向上させる子

- (1)相手の気持ちを考えて行動する
- (2)進んで気持ちの良いあいさつをする

勇気

そのために学校では

- いじめや差別0を目指します。
- 人権を考える授業を行います。
- 異学年交流を進めます。
- あいさつ、ボランティア活動を進めます。
- キャリア教育を進めます。

主な評価目標

- ・児童アンケートで「学校が楽しい」「友達となかよくできた」と答える児童が90%を目指します。
- ・「進んであいさつできた」と答える児童が90%を目指します。

家庭との連携

- ☆思いやりのある言葉がけ
- ☆家庭や地域ぐるみでのあいさつ活動

健康・安全と体力の向上を図る

からだの部

目指す子どもの姿

◇健やかな体で、
粘り強くやりぬく子

- (1)体力を向上させる
- (2)望ましい生活習慣づくりに自ら取り組む

根気

そのために学校では

- めあてをもって運動します。
- メディアとの関わり方を指導・改善します。
- 眠育に取り組めます。
- 家庭と共に食育を推進します。

主な評価目標

- ・児童アンケートで「進んで運動した」「めあてに向かって努力した」と答える児童が90%を目指します。

家庭との連携

- ☆家庭でのメディア利用方法の見直しと早寝早起きの声かけ

9か年で
子供を育てる

出雲崎町教育計画 夢、感性あふれる教育

地域と進める
教育活動

<出雲崎町学校教育の基本理念>

- ◎自己実現に向けて、基盤となる学力の育成
 - ・目的を明確にした授業の推進
 - ・家庭学習の習慣化
 - ・学習規律の徹底
- ◎状況に応じて善悪を的確に判断し、互いに認め合い協力して活動する能力
 - ・個人の言動と周囲の関わりについての適切な指導
 - ・一人一人が活躍できる場の設定と見取りと称讃
- ◎健全な心、強い意志、行動力を支える堅強な身体の育成
 - ・食育、眠育、の指導
 - ・生活を振り返る場の設定
 - ・運動の楽しさを知る授業や場の設定

<保・小・中連携教育>

- 9か年の義務教育を見通したカリキュラム
- ノーマディアデーの具体的活動強化
- 眠育の啓発と推進
- あいさつ運動
- 町教育研究会授業研究・研修会
- 授業改善・UD化の取組紹介
- 感染症予防教育の強化
- 中学校部活動体験・乗り入れ授業
- いじめ見逃しゼロスクール集会
- ハッピーライフウィーク
- 小中合同学校保健委員会
- 保育園・こども園との交流

<地域の組織や豊かな人材>

- 学校支援地域本部事業
- 地域コーディネーター
- 保護司・民生委員・児童委員
- 行政区 後援会
- 学習支援ボランティア
- 食生活改善推進委員協議会
- 地域文化等保存会
- ほなみが丘またぎの会
- 出雲崎町役場、きらり等の公官庁
- 地域の事業所
- 社会教育施設・NPO・社会教育団体
- 魚沼スキークラブ・学校スキー研究会

6 年間授業時数

教科領域 学年	各教科										道徳	特別活動				総合的な学習	外国語活動	合計
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語		*委員会等 児童会活動	学級活動	学校行事	クラブ活動			
1年	306		136		102	68	68		102		34	12	34	28				890
2年	315		175		105	70	70		105		35	12	35	27				949
3年	245	70	175	90		60	60		105		35	12	35	28		70	35	1020
4年	245	90	175	105		60	60		105		35	13	35	30	10	70	35	1066
5年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	23	35	42	10	70		1079
6年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	23	35	40	10	70		1077

7 主な学校行事

1 学期	2 学期	3 学期
4/6 新任式・始業式 4/7 入学式 4/11 PTA奉仕作業 中止 4/17 学習参観・PTA総会 中止 4/21 1年生を迎える会 スクールガードボランティア 子面識会 中止 4/28 交通安全教室 中止 5/23 大運動会 延期 6/2 避難訓練① 6/6 オープンスクール 中止 子育て講演会 中止 6/17 キッズウィータ 中止 -(出雲崎大祭)- 7/1 市郡親善陸上大会 中止 7/8-9 6年修学旅行(佐渡) 延期 7/28-30 個別懇談 7/31 終業式	8/7 市郡親善水泳大会 中止 8/24 始業式 8/31~4 夏休み作品展 9/ 6年修学旅行 9/9~10 5年自然教室(妙高) 9/16 避難訓練② 9/26 大運動会 9/30 マラソン大会 中止 10/1 就学時健康診断 10/7 ふた葉遠足 10/24 音楽発表会 11/12 市郡親善音楽会(4・5年参加) 11/14 ふた葉まつり 11/26~27 個別懇談(希望者) 12/7 学習参観 12/24 終業式	1/8 始業式 1/12 書き初め大会 1/18~22 書き初め展 1/20 避難訓練③ 1/27~28 学力テスト 1/29 スキー教室(6年) 2/3 スキー教室(5年) 2/5 スキー教室(4年) 2/10 新1年生 移行学級 2/15~19 校内版画展 2/19 学習参観・学年懇談会 2/25 6年生ありがとう集会 3/5 出中体験入学(6年) 3/24 終業式 3/25 卒業証書授与式 3/26 離任式

8 児童数

(令和2年5月1日現在)

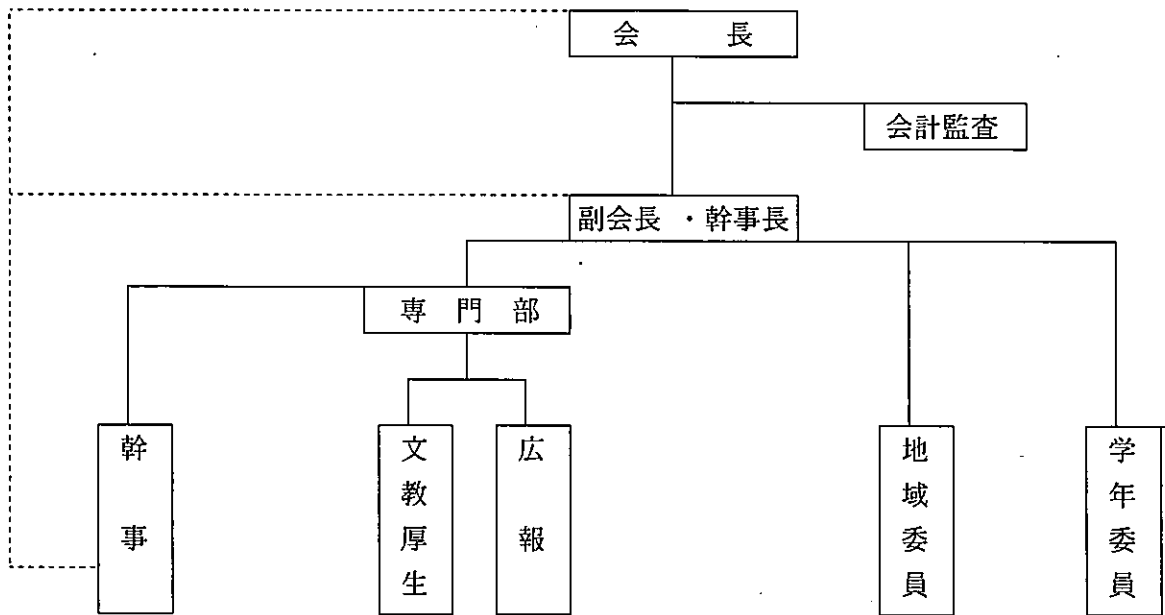
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援				合計
							〈るみ1〉	〈るみ2〉	〈るみ3〉	〈るみ4〉	
男子	11	9	3	12	19	11	4	3	3	3	65
女子	13	22	16	19	6	14	3	2	2	3	90
合計	24	31	19	31	25	25	7	5	5	6	155

※各学年の人数は特支学級在籍児童を含む

9 職員一覧表

No.	職名	氏名	主な分掌・担当学年等	備考
1	校長	五十嵐 悟	学校経営	
2	教頭	桑原 浩史	学校運営, 後援会, 町PTA事務局, 学校支援地域本部事業	
3	教諭	本間 洋平	教務主任, PTA事務局, スクールバス, 体育主任	
4	教諭	青柳 勇治	くるみ4組担任, 安全・防災教育, 課外活動部主任	
5	教諭	三國 益栄	くるみ2組担任, 国語主任	
6	教諭	清水 健一	5年担任, 情報教育, 外国語主任	
7	教諭	増井智恵子	4年担任, 音楽主任, 福祉ボランティア	
8	教諭	目黒 博子	6年担任, 心の部主任, 図書館教育, 理科主任	
9	教諭	小林 麻衣	1年担任, 道德教育推進教師, 環境教育	
10	教諭	中澤 満幸	生活指導主任, 算数主任	
11	教諭	三浦 好	くるみ1組担任, 特別支援コーディネーター, 人権教育, 同和教育	
12	教諭	伊藤 美架	3年担任, 研究主任, 学びの部主任, 総合主任	
13	教諭	笠原 花澄	2年担任, 生活科主任	
14	講師	野上 栞	くるみ3組担任, 家庭科主任	
15	講師	笛田 悠稀	少人数学習	
16	養護教諭	中条 洋子	学校保健, 保健主事, 体の部主任, 食育	
17	主事	千野 翔揮	学校事務, 財務, 庶務, PTA事務局	
18	栄養教諭	丸山 朝美	給食指導, 食育	兼務 (本務校出中)
19	英語専科	茂木 淳子	外国語指導, 外国語活動指導	兼務 (本務校刈羽小)
20	教員補助員	織田三恵子	特別支援教育, 学習補助, 庶務	
21	教員補助員	岩田 映子	特別支援教育, 学習補助, 庶務	
22	教員補助員	山後加奈子	特別支援教育, 学習補助, 庶務	
23	介助員	権頭 和美	児童介助	
24	介助員	伊藤 好美	児童介助	
25	介助員	渡邊奈津美	児童介助	
26	介助員	外川ひとみ	児童介助	
27	調理師	平沢 昌宏	給食調理	
28	調理員	山田 米子	給食調理	
29	調理員	長谷川弘子	給食調理	
30	施設管理員	小林 憲雄	用務, 校地・校舎整備	
31	理科支援員	齋藤 信	理科補助	
32	情報支援員	山田 豊	情報教育補助	
33	教員補助員	増田 政子	外国語活動	兼務 (本務校出中)
34	ALT	Daniel Recupero	外国語活動	

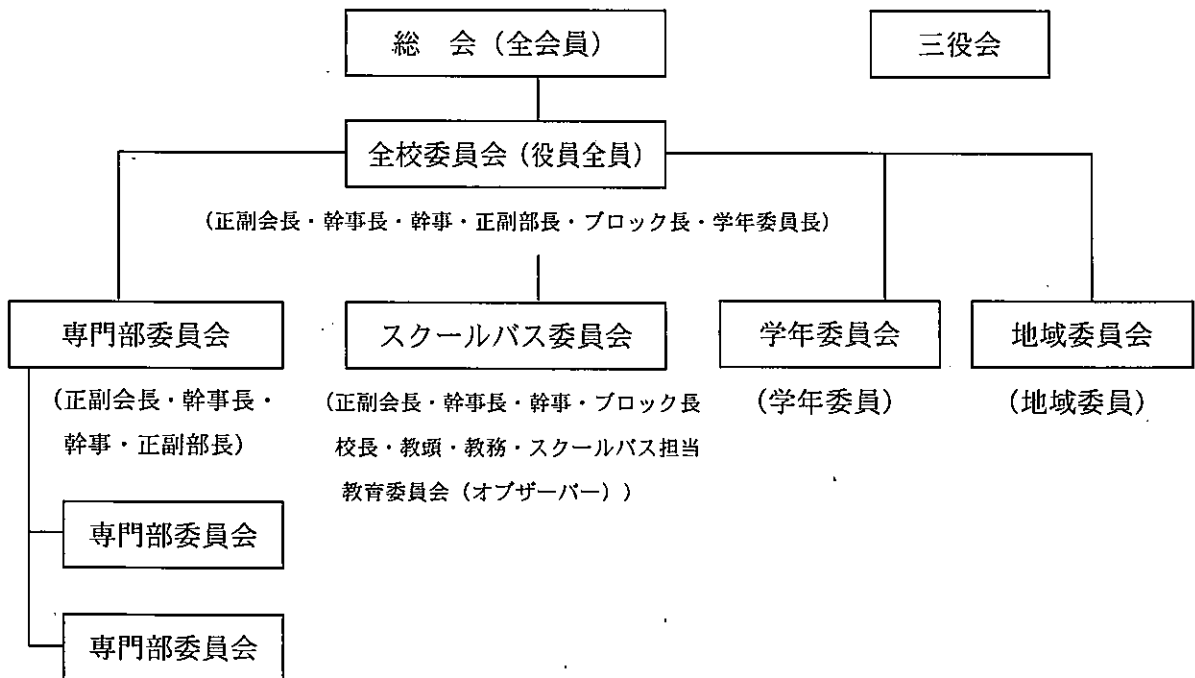
10 PTA 組織



会長 南波 久敏
 副会長 立石 邦仁 寺澤 利信
 幹事長 長谷川未菜美
 幹事 内藤 貴志 高橋 伸明 根立 康平 田中 潤

PTA 会議図

(正副会長・幹事長・幹事・事務局)



〔出雲崎中学校〕

学校経営



校長 小野塚 満



1 教育目標

「豊かな心 たくましい実践」

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う様々な課題に直面している。共存共栄を図るグローバル化の盲点が現れたものと捉えている。これまでの生産年齢人口の減少や社会構造の変化に加え、しばらくは経済・雇用の縮小も進んでいくことが予想される。

反面、オンライン通信システムを活用した会議やテレワークなど、新たな技術を基盤としたコミュニケーションや勤務形態が急速に普及することも予感させられる。

このような多様な課題と変化を抱える中で、改めて自立・協働・創造を理念とした「たくましく生きる力」を身に付けさせる必要があると感じている。また、様々な困難に対して、互いに尊重し合いながら仲間と力を合わせ、乗り越える力がますます重要となってくる。

当校の教育目標「豊かな心 たくましい実践」に向けて、教職員が一つのチームとなり連携・協働し、組織的・計画的に学校課題に取り組み、次のスローガンの達成に全力で取り組む。

<スローガン>

**「出雲崎への愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、
未来を切り拓いていける、たくましい生徒の育成」**

2 教育目標の実現に向けて

(1) 学校経営の3つにキーワード 「学ぶ学校・つながる学校・思いやる学校」

(2) 学校経営の基本方策について

- ① 「学ぶ学校」に向けて、授業改善と学習習慣の確立を図る
- ② 「つながる」学校に向けて、地域の人的・物的資源を活用する
- ③ 「思いやる」学校に向けて、地域を巻き込んだ社会性育成に取り組む

3 目指すべき姿

(1) 目指す生徒像

- 1 意欲をもって、わかるまで、できるまで学ぶ生徒
- 2 お互いを思いやる、心優しい生徒
- 3 目的をもって自己に挑戦し、自ら鍛える生徒

(2) 目指す職員像

- 1 学力向上のための授業改善や研修に取り組み、生徒とともに学び続ける職員
- 2 生徒・保護者・地域と心を通わせ、信頼される職員
- 3 生徒の心身の健康と安心・安全な学校づくりに心を配る職員

4 具体的方策

(1) 意欲をもって、わかるまで、できるまで学ぶ生徒の育成

① 学力の向上に向けての取組

- ・学習規律を確立し、共に学び合う観点から学習ルールを定着させる。
- ・家庭学習の習慣化のために、実態に合った取組を家庭や小学校と連携して行う。
- ・「主体的・対話的で深い学び」を大切にした授業づくりを行う。
- ・授業のねらい、課題、流れ、まとめ、振り返りを明示するなどのUD化を図り、生徒が見通しをもって授業に臨めるようにする。

②自ら学ぶ意欲の育成

- ・体験活動を通して、進路や生き方に関する目標を設定させる。
- ・ワークに定期的に取り組み、期限を守る意識と習慣を身に付ける。
- ・互いの良さに気付き、課題解決のために話し合い活動、ファシリテーション、クラス会議等の手法を実践する。
- ・地域教材を活用し、学んだことを分かりやすくまとめ、発表する工夫と手法を身に付ける。

(2) お互いを思いやる、心優しい生徒の育成

①自己肯定感・自己有用感の向上を図る取組

- ・豊かな情操や倫理観、規範意識をはぐくむ道德教育を推進する。
- ・専門委員会や学級の係活動を割り当て、自分の役割を果たす。
- ・互いの役割を補完し合いながら、協同・感謝の気持ちをもつ。
- ・職場体験活動、ボランティア活動、自然体験活動等の豊かな体験活動を充実する。

②豊かな人間関係づくりの推進

- ・ファシリテーションにより、人の話を受容的に聞く習慣を身に付ける。
- ・小中学校間での交流や異学年交流など、異年齢集団による活動の機会を設ける。
- ・生徒が主体となる「いじめ見逃しゼロスクール集会」を開催したり、関わり合って学ぶ授業を展開したりするなど、教育活動全体を通じて社会性を育成する。

(3) 目的をもって自己に挑戦し、自ら鍛える生徒の育成

①体力の向上に向けての取組

- ・保健体育の授業を充実し、運動への興味と資質・能力の向上に継続して取り組む。
- ・部活動や地域のスポーツクラブ活動等への所属を奨励し、継続的に運動やスポーツに親しませる。
- ・新体力テストの結果を分析し、一人一人の課題に基づいたトレーニング方法を指導する。

②基本的な生活習慣の確立

- ・ハッピーライフウィーク（強調週間）で、健康な生活を意識しながら生活させる。
- ・自らの生活を律し、メディアコントロールと「早寝・早起き・朝ごはん」を通して健康的な生活を送る生徒を育てる。
- ・感染症の予防に全校体制で取り組む。

5 その他の取組

(1) 実効性のある職員研修の充実

- ①新学習指導要領の来年度の完全実施に向けて、本校の生徒の実態に合ったカリキュラムマネジメントを実践する。
- ②「集団づくり」に重点をおき、ファシリテーションを中心に、横並びの人間関係づくりに取り組み、温かく親和的な自治的な集団づくりを目指す。
- ③研修計画に基づき、職員一人一人が授業改善に取り組むとともに、研修も職員での「学び合い」を軸にして展開する。

(2) 特別支援教育・インクルーシブ教育の充実

- ①特別支援教育やインクルーシブ教育を推進するために校内研修を実施し、基礎的環境整備に取り組む。
- ②さわらび学級に在籍する生徒や通常学級での特別な支援を要する生徒の実態把握に努め、その対応を全職員で共通理解を図る。また、UDLの視点を取り入れた学習環境づくり・授業づくりに全校体制で取り組む。
- ③小学校・特別支援学校・医療機関・町当局と連携を図る。

(3) 保護者や地域、小・中・高等学校との連携強化

- ①授業公開や学力向上・授業改善のための小・中・高の連携を推進し、一貫した実効性のある教育を展開する。
- ②学校だよりやホームページ、メール配信等を積極的に保護者や地域に発信する。
- ③学区の保育園や高等学校、隣接する長岡・柏崎市の小・中・高等学校と情報交換を図り、学校に対する意見や要望に耳を傾け、保護者や地域のニーズに応えられるようにしていく。

6 年間指導時数の配当

	教 科									道徳	学級活動	総合的な学習	合計
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術家庭	英語				
1年	140 (4)	105 (3)	140 (4)	105 (3)	45 (1.3)	45 (1.3)	105 (3)	70 (2)	140 (4)	35 (1)	35 (1)	50 (1.4)	1015 (29)
2年	140 (4)	105 (3)	105 (3)	140 (4)	35 (1)	35 (1)	105 (3)	70 (2)	140 (4)	35 (1)	35 (1)	70 (2)	1015 (29)
3年	105 (3)	140 (4)	140 (4)	140 (4)	35 (1)	35 (1)	105 (3)	35 (1)	140 (4)	35 (1)	35 (1)	70 (2)	1015 (29)

7 進路指導の大綱

(1) 指導の重点

- ア 生徒一人一人の個性・能力・適性の把握に努め、その発達段階に応じた進路情報、啓発的経験及び進路相談を通して、将来の進路選択が主体的かつ適正に行われるよう指導・援助する。
- イ 卒業後の生活によりよく適応し、自己実現を図ることができるよう継続的に指導する。

(2) 具体的な方策

- ・進路指導計画に基づき、効果的な進路の学習を進める。
- ・各種検査・進路相談を実施し、結果を指導に生かす。
- ・発達段階に応じた適正な進路情報を与える。
- ・保護者会・家庭訪問を通して進路選択や決定での保護者の理解と認識を高める。

8 主な学校行事

1 学 期		2 学 期		3 学 期	
4/6	始業式	8/24	始業式	1/8	始業式、
4/7	入学式	9/5	体育祭		書初大会
5/18・19	中間テスト	9/17～19	修学旅行(3年)	2/4・5	期末テスト
5/25	避難訓練	9/24	郡市新人陸上	2/18	同窓会入会式
6/11	総合1日体験活動日(中止)	9/28・29	中間テスト		良寛学習修了証授与式
6/16・17	地区各種大会①(中止)	10/7・8	郡市新人各種大会	3/2	第49回卒業式
6/24・25	地区各種大会②(中止)	10/21	避難訓練	3/4	公立高校学力検査
6/27	地区各種大会③(中止)	10/24	学習発表会	3/5	公立高校独自検査
7/2・3	期末テスト	11/5	総合1日体験活動日	3/25	終業式
7/18～20	県総体(中止)	11/16・17	期末テスト	3/26	離任式
7/31	終業式	12/24	終業式		

9 生徒数

(令和2年5月1日現在)

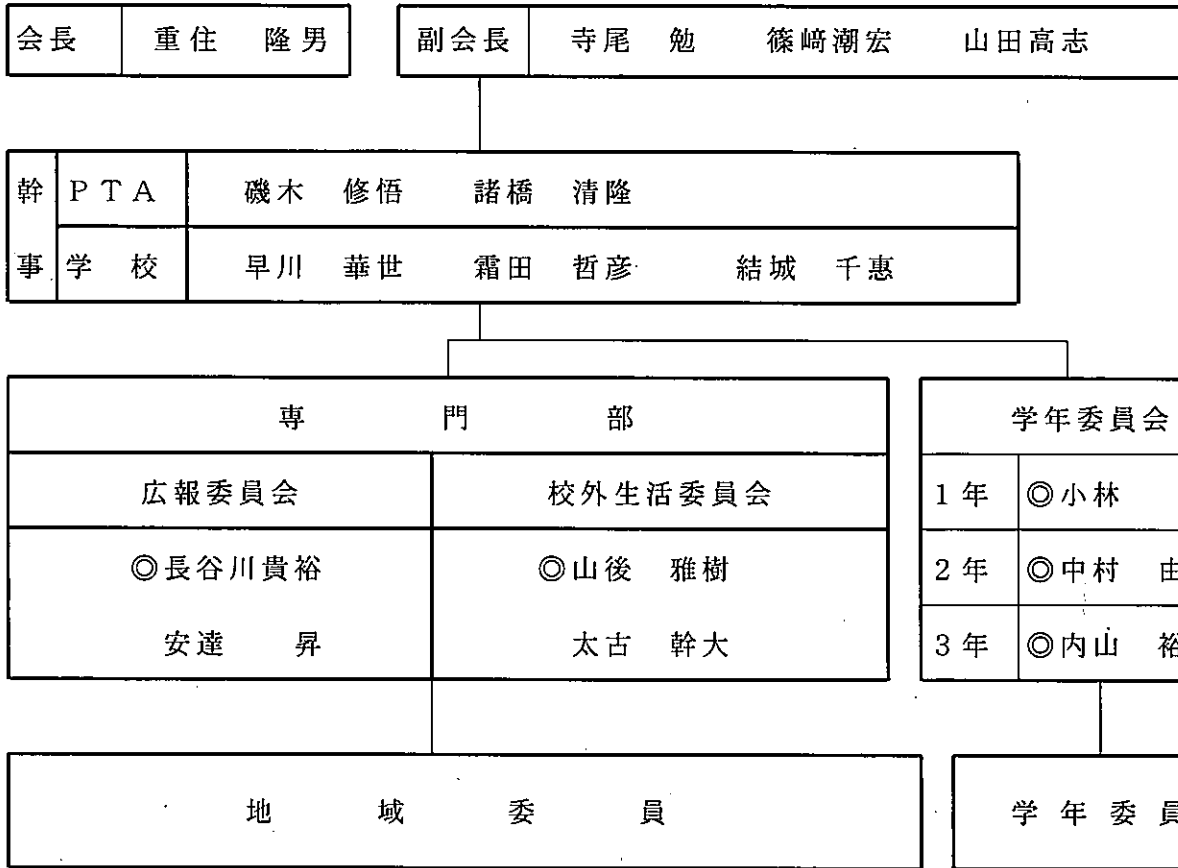
	1 年	2 年	3 年	さわ らび	合 計
	1 組	1 組	1 組		
男子	11(0)	18(4)	19(3)	(7)	48
女子	18(3)	11(1)	19(0)	(4)	48
学年計	29(3)	29(5)	38(3)	(11)	96

※数字はさわらび学級の生徒を含む。

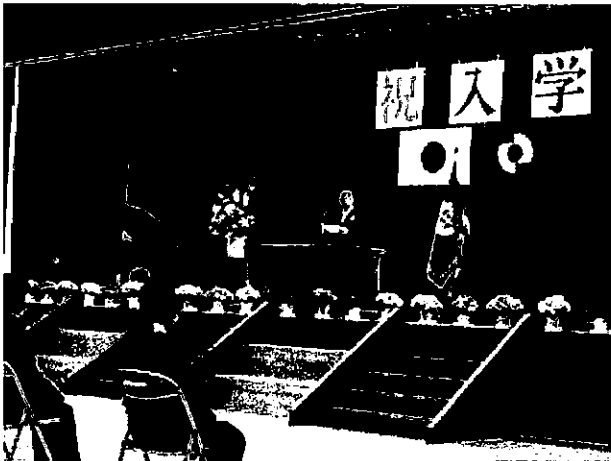
10 職員一覧

	職名等	氏名	学年・学級	教科	主な校務分掌	部活動
1	校長	小野塚 満			学校経営	
2	教頭	早川 華世		国語	PTA事務局 同窓会 後援会 防火管理者	吹奏楽
3	教諭	霜田 哲彦	教務主任、3学年主任	技術	進路指導主事、総合的な学習、放送委員会	野 球
4	教諭	久保田ひとみ	2学年主任	国語	研究主任、道徳教育推進教師 図書委員会	吹奏楽
5	教諭	葛岡 進	1学年主任	英語	生徒指導主事、特別支援教育コーディネーター	バレーボール
6	教諭	樺澤 崇	1年1組担任	数学	情報教育、防災教育、交通安全	女子卓球
7	教諭	村山 真子	3年1組担任	理科	生徒会主任、特別活動、学級指導、学籍	女子卓球
8	教諭	小島 和裕	2年1組担任	社会	学年委員会、応援団、職員厚生	男子卓球
9	教諭	鈴木健太郎	2学年副任	保健体育	中体連、体育祭実行委員会、奉仕委員会	野 球
10	講師	三浦 忠夫	さわらび学級担任、3学年副任	英語	特別支援教育、国際理解教育	バレーボール
11	講師	関 優孝	さわらび学級担任、1学年副任	国語	特別支援教育、環境教育、清掃指導	男子卓球
12	養護教諭	小林 真希	2学年副任		保健主事、清掃指導、教育相談、健康委員会	バレーボール
13	栄養教諭	丸山 朝美			学校給食	
14	主任	結城 千恵			学校事務	
15	非常勤講師	岩淵 恵子		家庭	週1回(水)	
16	非常勤講師	笠原 利章		美術	週1回(金)	
17	非常勤講師	高野多恵子		音楽	週2回(水、金)	
18	A L T	Daniel Recupero				
19	教育補助員	高畑 秀紀	2学年副任	理科		
20	教育補助員	佐藤 聖子	1学年副任	数学		
21	教育補助員	増田 政子	3学年副任	英語		
22	介助員	安達美奈子	1学年副任			
23	介助員	田口 統子	3学年副任			
24	施設管理員	内山 諒				
25	調理員	近藤小百合				
26	調理員	平田 典子				
27	調理員	細山 美雪				
28	情報教育支援員	山田 豊			週1回(水)	
29	心療相談員	八子 幸子			週3回	
30	スクールカウンセラー	高梨 琢哉			週2回	
31	拠点校指導員	笠井 克人			週1回	
32	情報系教諭	西片恵美子		3/2		

11 PTA組織



4月7日(火) 入学式



4月8日(水) 1年交通安全教室



4月9日(木) 生徒会入会式



4月9日(木) 部活動紹介



出雲崎中学校グランドデザイン

生徒の実態

- ・素直で明るく素朴である。
- ・より向上しようとする意欲に欠ける面がみられる
- ・自学の習慣が身につけていない。
- ・郷土の自然や文化への関心が薄い。

地域や保護者の願い

- ・素直で、やさしく、活発な人間に育つことを望んでいる。
- ・古くからある歴史、文化を埋解し、出雲崎町に誇りを持ち、将来出雲崎町のために尽くす人間に成長して欲しいと考えている。
- ・個人として自立し、自ら判断し、行動できる人間になって欲しいと願っている。

教育目標
豊かな心（徳）たくましい実践（知）（体）

R2年度の重点課題
・人間関係づくり（徳）
・学力の向上（知）

年度の重点目標 = 育てたい生徒の姿
たくましい実践（知）意欲をもって、わかるまで、できるまで学ぶ生徒
豊かな心（体）目的をもって自己に挑戦し、自ら鍛える生徒
豊かな心（徳）お互いを思いやる、心優しい生徒

年度の努力事項

出雲崎町教育計画

出雲崎町がめざす教育の姿
夢をもち、感性豊かで、
たくましい心と体
（知）9年間を見通した系統だった指導計画の作成と遂行
（知）発達段階を越えた学習規律の確立
（知）発達段階に応じた授業と結びついた家庭学習の確立
（徳）豊かな感性を備えた自立した人間の育成
（体）発達段階に即した基本的な生活リズムの確立
（特別支援）一人一人の障害に応じた関係機関と連携した継続的な指導

重点目標	知：意欲をもってわかるまでできるまで学ぶ生徒	徳：お互いを思いやる心優しい生徒	体：目的をもって自己に挑戦し自ら鍛える生徒
努力事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 知識・技能の着実な習得と、活用場面の充実に通して、学びの実感を育む。 2 言語活動の充実に通して、考えを深められる生徒を育成する。 3 キャリア教育の充実に通して、学ぶ意義や目的を見出し、主体的に学ぼうとする意欲を育む。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 相手の立場を考えて行動するコミュニケーション能力を育成する。 2 互いに関心を持ち、関わり合う活動を通して自己肯定感、自己有用感を育む。 3 人権教育・同和教育の充実に通して、差別や偏見をしない・させない人間関係づくりを醸成する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 具体的な目標をもって、継続的に体力の向上を図ろうとする生徒を育成する。 2 自己管理に対する高い意識をもち、基本的な生活習慣（メディアコントロール・睡眠時間・食生活）を確立する生徒を育成する。

目標達成計画

	生きて働く知識・技能	自己肯定感・自己有用感	体力の向上
成果	・12月のまとめテストの結果が基準を上回る。	・多くの生徒が「集団の役に立っている」と実感して学校生活を送る。	・2学期に行う新体力テストで、県平均越えの項目数が1学期を超える。
教育活動	ア チャイムと同時に学習活動に取り組む。 イ 基本的な知識や技能が身に付いていなければできない課題ができる ウ 毎日60+学年×10分以上家庭学習に取り組む	ア 専門委員会や学級の係活動などで自分の役割を果たす。 イ 生徒会活動において、決められた仕事だけでなく、自分で気づいて仕事を行う。	・運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。
運営活動	ア チャイムと同時に学習活動を毎時間準備する。 イ 知識・技能を働かせないと解決できない課題を準備する。 ウ 家庭学習カードで予定と結果を毎日点検する。	ア 専門委員会や学級での取組について、自己評価や他者評価の場を設定し、よさを認める。 イ 生徒会活動において、何のための活動か、どんな役に立つ活動かを毎月生徒に指導する。	・体育授業の準備運動で体力作り運動を毎時間実施する。
成果	・学ぶに向かう力が高まる。	・多くの生徒が安心して過ごせる学校、学級集団であると感ずる。	・基本的な生活習慣の確立
教育活動	ア ねらいを理解して一人学習や学び合いに取り組む。 イ 授業で、課題の解決に向けて、自分から考え、自分から取り組む。 ウ 進路や生き方に関する目標を設定し、体験活動に取り組む。	ア ペアトークやグループでの話し合いでは、相手が言いたいことを考えながら、人の話を聞くことができる。 イ 悩みや困ったことがあったら、誰かに相談できる。	・ハッピーライフワークで基本的な生活習慣の重点3項目を守って生活できる。 ・ハッピーライフワークで ①11時までの自分の決めた時間に就寝する。 ②メディア時間を2時間以内にする。 ③バランスの取れた朝食を食べる。
運営活動	ア 毎単元、意図を明確にした話し合いの場面を設定する。 イ 毎単元、課題解決型の授業を設定する。 ウ 総合的な学習の指導で、事後のまとめ方を見通して、事前の指導を行う。	ア 望ましい傾聴のモデルを念頭において、授業や特別活動で傾聴の仕方を指導する。 イ 日々の生徒の様子や変化を捉えて、生徒に進んで声かけを行う。	・ハッピーライフワーク中、カードを使って個々の睡眠の評価と生活指導を行う。

評価サイクルによる評価の実施

学校評価（内部評価・外部評価・学校関係者評価）

評価結果の公表（保護者、地域）

次年度の課題・改善へ

特別支援教育

目標 一人一人の特別な教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を行うことにより、将来的に自立した社会生活を送るための基礎的・基本的な知識と技能を身に付けさせる。

1年時
◎ 中学校生活のリズムを掴ませ、学校生活への適応を促す
◎ 生徒の状況を正しく伝え、保護者との連携を強める

個別指導の充実

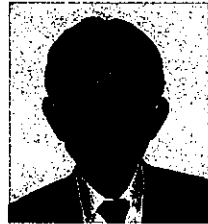
2・3年時
◎ 自己理解を促し、自分の適性に合わせて良さを伸ばし、自己肯定感を高める
◎ 生徒の状況を正しく伝え、保護者との連携を強める
◎ 進路に目を向けさせ、学習・生活の自立を促進する

〔教育委員会関係役員名簿〕



教育長

佐藤 亨



委員

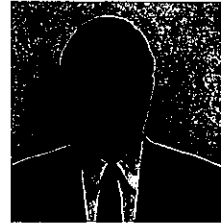
(教育長職務代理者)

村越隆夫



委員

内山才子



委員

佐藤正志



委員

大磯多華子

(令和2年6月10日現在)

氏名	職名	任期
佐藤 亨	教育長	平成30年4月2日～令和3年4月1日
村越 隆夫	教育長職務代理	平成28年10月27日～令和2年10月26日
内山 才子	委員	平成28年10月27日～令和2年10月26日
佐藤 正志	委員	平成29年10月18日～令和3年10月17日
大磯 多華子	委員	平成29年10月18日～令和3年10月17日

2 社会教育委員

氏名	備考
磯部友記雄	学識経験者
中野勝正	町議会総務文教常任委員長
小野塚満	出雲崎中学校長
南波久敏	出雲崎小学校PTA会長
金泉清子	学識経験者

4 図書館協議会委員

氏名	備考
小野塚満	出雲崎中学校長
五十嵐悟	出雲崎小学校長
遠藤敬子	出雲崎町婦人会長
高桑佳子	学識経験者
渡邊モト	学識経験者
田中秀和	学識経験者
遠藤枝里子	学識経験者

3 公民館運営審議会委員

氏名	備考
磯部友記雄	学識経験者
中野勝正	町議会総務文教常任委員長
五十嵐悟	出雲崎小学校長
遠藤敬子	出雲崎町婦人会長
遠藤達実	学識経験者
渡邊モト	学識経験者
田中秀和	学識経験者

5 文化財調査審議会委員

氏名	備考
渡邊常侃	委員長
生田恒憲	
磯部友記雄	
田中文明	
田中宥暢	
佐々木高史	
松岡聡	
岩田統子	

6 生涯学習推進委員会委員

氏名	備考
磯部友記雄	社会教育委員長
中野勝正	町議会総務文教常任委員長
五十嵐悟	出雲崎小学校長
小野塚満	出雲崎中学校長
南波久敏	出雲崎小学校PTA会長
遠藤敬子	公民館運営審議会委員
田中秀和	公民館運営審議会委員
丸山国夫	体育協会会長
磯木ヨシエ	町商工会女性部常任委員
田中文明	文化財調査審議会委員

7 スポーツ推進委員

氏名	備考
佐藤弘子	協議会長
安部和久	
丸山国夫	
高桑佳子	
小林裕子	
田口浩司	
佐藤万里子	
坂東拓哉	

8 スポーツ推進審議会委員

氏名	備考
佐藤弘子	委員長
安部和久	
丸山国夫	
高桑佳子	
小林裕子	
田口浩司	
佐藤万里子	
坂東拓哉	

9 青少年問題協議会委員 ◎会長

氏名	備考
◎小林則幸	出雲崎町長
山田正志	副町長
中野勝正	町議会総務文教常任委員長
三輪正	町議会社会産業常任委員長
権田孝夫	保健福祉課長
村越隆夫	教育長職務代理者
佐藤亨	教育長・公民館長
磯部友記雄	社会教育委員長
河崎政則	民生児童委員会長
磯部芳江	出雲崎保護司会長
野澤一昭	出雲崎駐在所
五十嵐悟	出雲崎小学校長
小野塚満	出雲崎中学校長
増川義行	出雲崎高等学校長
櫻井宣雄	与板地区少年警察ボランティア連絡会
海野知現	出雲崎こども園理事長
菅ハナエ	小木之城保育園理事長
坂爪アキ子	出雲崎更生保護女性会副会長

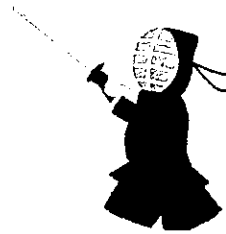
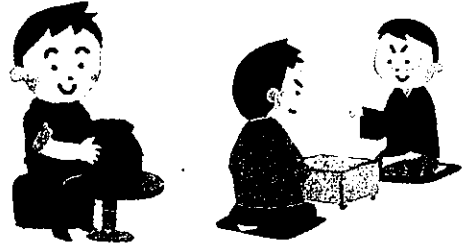
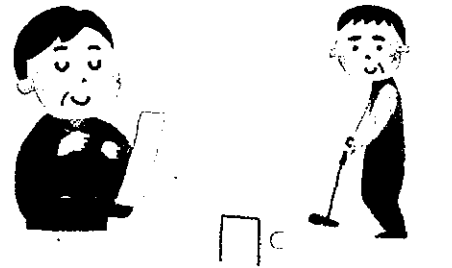
10 教育課職員

職氏名	主な担当
教育長 佐藤 亨	兼公民館長・図書館長
教育課長 矢島 則幸	総括
課長補佐 吉岡 育子	社会教育
社会教育係長 渡辺 一敏	社会教育
庶務学校教育係長 高橋 聡	庶務学校教育
主任 山崎 健太	庶務学校教育
主任 小林 ひろ子	社会教育
主事 佐藤 理絵	社会教育
主事 石津 大弘	社会体育
管理指導主事 近藤 道範	学校教育
教育相談員 高梨 琢哉	巡回指導・教育相談
事務職員 竹村 しのぶ	図書館・海岸公民館
事務職員 小川 真紀子	中央公民館・体育館
用務員 小林 秋子	中央公民館
用務員 柴田 圭一	町民体育館
良寛記念館 館長 永寶 卓	良寛記念館の総括
事務職員 小黑 晴美	受付事務、施設管理
事務職員 大久保淳子	受付事務、販売
事務職員 佐藤佐由里	受付事務、販売

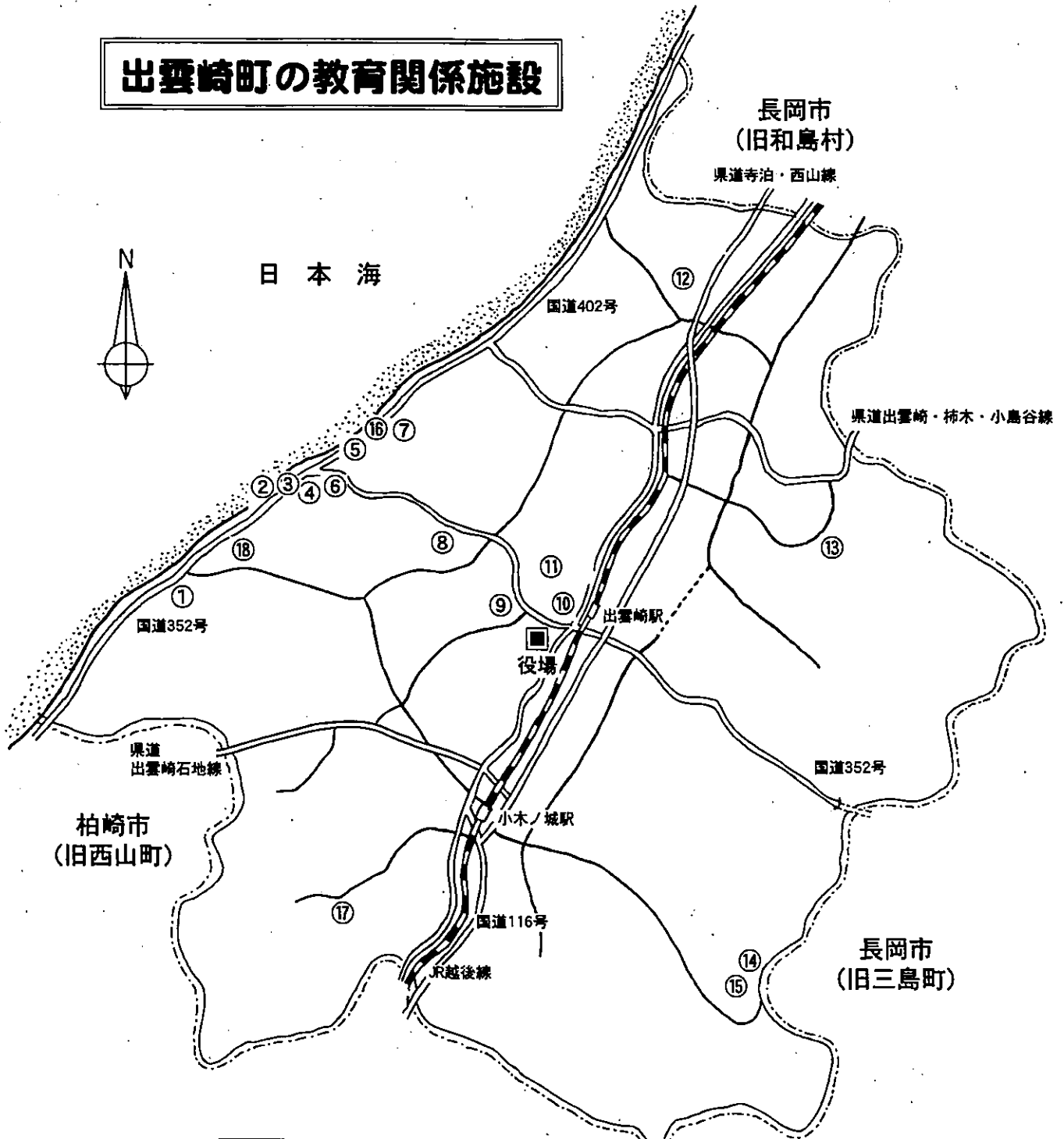
社会教育・文化・体育関係団体

団体名	代表者名
町教育研究会	小野塚満
町PTA連絡協議会 (加盟団体)	南波久敏 出雲崎小PTA (南波久敏) 出雲崎中PTA (重住隆男)
出雲崎妻入りの街並景観推進協議会	村越隆夫
町婦人会	遠藤敬子
越後出雲崎街並活性化研究会	磯部友記雄
青少年育成出雲崎町民会議	村越隆夫
町公民館文化サークル協議会 (加盟団体)	近藤佐敏 太極拳 (佐藤峰子) 書道 (棚橋初子) ガーデニング (佐藤敏) 英会話 (近藤佐敏) ちぎり絵 (小柳ミツエ)
滝谷薬師保存会	諸橋且委
小木城跡史跡保存会	安達昇治
出雲崎代官所獄門跡保存会	加藤修三
孝婦ゆりの碑保存会	佐藤昭四郎
町体育協会 (加盟団体)	丸山国夫 野球協会 (山崎信義) バドミントン協会 (安達 弘) ゲートボール協会 (内藤 壯) 出雲崎スカイヤーズ (立石邦仁) てんでん手毬 (内藤隆行) 卓球クラブ (小林栄一) 出雲崎ランニングクラブ (赤澤和晃) 出雲崎町インディアンクラブ (高橋和彦) 出雲崎サッカースクール (荒木啓之)

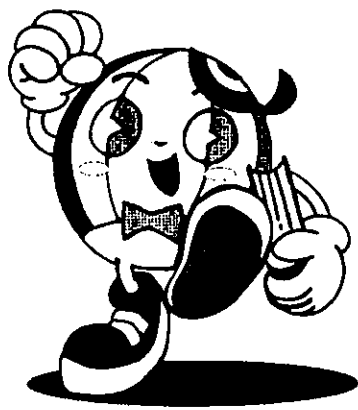
団体名	代表者名
出雲崎おけさ保存会	田中政孝
秀和会 (民謡)	小林 等
小木ノ城地区振興会	佐藤 昭人
渚会 (俳句)	小黒 淳
西の越句会	仲野 隆之
出雲崎町良寛景慕会	廣橋正房
史談会	磯部友記雄
ライオンズクラブ	本間哲雄
囲碁愛好会	日浦寛治
いきいき元気クラブ	萩野美喜子



出雲崎町の教育関係施設



凡例	① 代官所跡	⑧ 文化・スポーツ ふれあいの広場	⑩ 出雲崎小学校
	② 天領の里 (石油記念館公園)	・中央公民館	⑪ 県立出雲崎高校
③ 北国街道妻入り会館	・町民体育館	⑫ 赤坂山古戦場	
④ 芭蕉園	・町民野球場	⑬ 木造茶師如来坐像・鋸口 (県指定文化財)	
⑤ 良寛堂 良寛生誕の地橋屋跡 (県指定文化財)	・多目的運動場	⑭ 小木ノ城跡	
⑥ 良寛記念館 (国登録有形文化財)	・町民プール	⑮ 小木ノ城山の樹叢 (県指定文化財)	
⑦ 海岸公民館 (町立図書館)	・屋内ゲートボール場	⑯ 割烹みよや (国登録有形文化財)	
	・柔道場	⑰ 季節宿 國安 (国登録有形文化財)	
	多世代交流館きらり	⑱ 孝婦ゆりの碑	
	⑨ 出雲崎中学校		



生涯学習マスコットキャラクター
マナボー いずもくん